

ふるさとを知り、ふるさとのよさを再発見！

福知山市立桃映地域公民館(京都府)



令和6年度 庵我歴探訪

公民館の沿革・年表

○平成 3年 7月 桃映地域体育館 完工式
 ○平成 28年 7月 桃映地域公民館設立準備委員会立ち上げ
 長年、地域体育館としてその機能を果たすが、地域の願いである「地域での学びの場」の確保のため、当地域に地域公民館設立の要望が出される。
 ○平成 29年 7月 1日 桃映地域公民館 設立記念式
 以後、桃映地域体育館内に地域公民館事務局を置き、大正地区と庵我地区を管轄地域として公民館活動を開始する。大正・庵我地区の施設を借用して、講座や教室を開設する。
 ○令和 5年 11月 1日 旧大正文化センター跡地に桃映地域公民館本館建設工事が始まる。
 ○令和 6年 9月 28日 桃映地域公民館本館完成竣工式を執り行う。(予定)

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

「歴史探訪」講座は、地域の歴史にふれ、現在住んでいる地区がどのように変わってきたか等を知ることを通して、地域への愛着を醸成するとともに、これからの生活をより豊かにしていこうとする心情を育てることを目的として開催している。

左の写真は、今年度6月、庵我地区における「歴史探訪」講座の様子の写真である。本年度は、庵我地区(池部)にあるお寺「観音寺」において、住職 瀬川宗輝さんよりお話をいただいた。

江戸時代の福知山市内の大火事により、池部地区においても寺をはじめ住宅のほとんど焼失した。その時に、村人が寺の復興を一番に考え、「まずはお寺から」と復興を始めた。この話を聞いて郷土愛や当時の村人の思いにふれる機会となった。

公民館情報		1. 公民館対象人口	8258人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成3年7月1日 (令和6年9月28日)	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 755人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 12395人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 338人 合計 14,092人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 604人 (親子スポーツディ、わんぱくクラブ、グラウンドゴルフ大会等)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 6人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地域住民負担金)				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (桃映地域公民館運営協議会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公立大学連携)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (令和6年度までは体育館のみの施設。講座・教室等は館外での出前講座を開設。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (大正・庵我各地区自治会、地区公民館、民生児童委員会、子ども会、小中学校PTA 地域内人権推進施設)				

福知山市桃映地域公民館

OPEN 8時30分～21時00分 H P <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/kyouiku/1975.html>
 TEL 0773-24-3502 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

桃映地域公民館管内の地域は、大正地区・庵我地区の2つの地区が存在する。どちらの地区においても、少子・高齢化が進んでいる状況である。特に、庵我地区においては、その状況が顕著に現れ、状況の改善を図ろうと令和6年4月に「庵我まちづくり協議会」が発足した。

どちらの地区においても若者が定住できるように、地元地区公民館や自治会を中心として活動がなされている。

少子・高齢化対策と同時に、次世代のリーダー養成においても大きな課題があり、新たに居住することとなった市民と従来から住んでいる人との交流を深め、地域に親しみを持って生活することも大きな課題となっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【取組内容】

1 地域人材を活用した講座開設

- 6年度講座開設数19講座、その内地域人材を活用した講座を9講座開設している。

気功教室、ボッチャ教室、歴史探訪（大正・庵我）、親子木工教室
特大書道（大正・庵我）、刃物研ぎ教室、音楽鑑賞会

2 地域関連団体との連携した講座・事業

- 講座開設に当たっては、地域内の地区公民館や関連団体と連携を図りながら開設をしている。

3 地域（ふるさと）に愛着が持てる講座・活動を目指す。

- 「歴史探訪」講座
- 2つの地区の実態を把握して講座開設を行っている。
大正地区・・・新しい住宅地が増えている。（空き家を建て替え新たな居住者）
庵我地区・・・田畑も多く、農業担い手不足や人口減少が課題となっている。
- 地域の昔を知っている人から、地域の移り変わりを聞く中で、地域（ふるさと）の良さを知り愛着が持てるような取組を進めることを目的として、講座開設を行っている。



庵我地区 歴史探訪

3. 取組による成果や効果

- 住んでいる地域の昔の様子を知ることにより、地域への関心が高まった。特に、フィールドワークをして確かめることでより身近に感じることができた。
- 地区公民館との連携により講師を選定することで、新たな人材（講師）の発見につながり、地区公民館役員にも地域に住んでいる方々への関心が高まった。



大正地区 歴史探訪

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 講師との講座ごとの振り返り。
- 地区公民館役員との振り返り。
- 地域公民館役員での報告と次年度計画への意見交換。
- 講座に地域公民館役員にも参加してもらうことで、役員会での検証の精度を高める。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

桃映地域公民館は今年度で設立8年目を迎える。公民館として以下のように目標を掲げている。

目標「地域住民の交流がより深まる取組の推進」

テーマ「合わせよう顔と顔 つなげよう心と心」



6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 令和6年9月に本館が完成する。これまでは地域内で出前型講座を行ってきたが、本館が完成しても地域とのつながりを大切にするため、出前講座に取り組んでいきたい。
- 本館完成を期に、更に地域公民館としての認識を高め、更なる地域住民の交流が深まるように努めていきたい。

「何かいろいろやとりらしい」

京丹後市丹後地域公民館(京都府)



公民館の沿革・年表

- ・昭和52年5月20日
丹後町中央公民館として完成
- ・平成16年4月1日
丹後6町の市町村合併により京丹後市となり、京丹後市丹後地域公民館となる
- ・平成27年3月4日
第67回 優良公民館文部科学大臣表彰

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

京丹後市丹後地域公民館 正面外観

公民館情報		1. 公民館対象人口	4441人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和52年5月20日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	256台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1803人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 7049人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 544人 合計 11,047人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1651人 (選挙投票所、市総合検診会場、ほか)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 3人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (丹後放課後児童クラブ) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (京丹後市立丹後こども園、宇川保育所、丹後小学校、宇川小学校、丹後中学校、京丹後市立あみの図書館丹後図書室)				

京丹後市丹後地域公民館

OPEN 9時00分～22時00分 H P <https://www.city.kvotango.lg.jp/top/soshiki>

TEL 0772-69-0664 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・公民館事業でも参加者が減少傾向にあるが、地域・団体の取り組みでも子どもから大人まで幅広い世代が集い、交流できるような行事も少なくなっている。
- ・公民館事業・講座など、熱心に参加いただく市民もいるが、全体では参加者数が増えていない課題がある。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【地域で子どもたちを元気に・健全に】

丹後町青少年少女意見発表大会は、子どもたちの思い・考えを大人たちも聞き、地域ぐるみで子どもたちを健全に育てようという「青少年健全育成」活動でもある。



【成人教育で地域の活性化を】

市民の身近な学びの場として京丹後市高齢者大学丹後学園は、一般講座8回、教養講座8講座・43回を開催し、受講生・一般市民延べ347人の参加があり、市民が趣味・健康・文化などに触れ、学ぶ場を提供した。

3. 取組による成果や効果

【地域で子どもたちを元気に・健全に】

学校や公民館関係者はもちろんのこと、児童・生徒の家族、PTA、その他関係者など、多くの方々に関わっていただき、支えられ、継続できている。それは同時に地域全体で子どもたちを見守り育てることにつながっている。

【成人教育で地域の活性化を】

丹後学園の講座として、一般講座は時事の話題や地域の歴史などを活かした講座や音楽鑑賞などを開催し、地域の良さを再認識したり、触れる機会が多くない文化芸術を鑑賞できる機会となった。教養講座は趣味を伸ばしたり新たに挑戦したり、健康づくりに活かすなど、参加者の意識向上、仲間づくり、生きがいづくりなどにつながっている。

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・課内や他の地域公民館等との協議・意見交換により反省点・問題点を検証する。
- ・丹後学園経営会議（校園長会）や関係組織等と連携して現状の課題を検証し、時勢に合わせた改善を図っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

事業・講座を計画し実施した時、参加者が多くない場合や自町域よりも他町域からの参加者が多かったこともある。計画した思惑と一致しないことも多いが、より幅広く市民に参加していただける活動を展開したい。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

地域公民館が主体となって、公民館が取組み地域それぞれの課題に応じた学習活動などが継続実施できるよう、また、地域の公民館が取り組みにくいテーマの学習機会の提供など、活動支援を行っていきたい。

We are さやまなかま

大阪狭山市立公民館(大阪府)



公民館の沿革・年表

- ・昭和52年 狭山町立公民館として設立
- ・昭和62年 市制施行に伴い、大阪狭山市立公民館となる
- ・平成19年 指定管理者制度による施設の管理運営を開始
- ・平成22年 アクティオ株式会社を指定管理者として指定
現在 3 期目
- ・平成30年 大阪府立狭山高等学校学校運営協議会に参画
- ・令和 4 年 大阪狭山市立西小学校学校運営協議会に参画

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- (上)年に1度開催の新春子どもまつりの様子。
現在は、「子どもが様々な体験ができる1日をつくろう」という呼びかけに参画頂いた団体や府立狭山高校文化部と一緒に会議を進め、準備も一緒にやり、作り上げている。当日は、多くの親子、子どもたちが集い、世代間交流にもなっている事業である。昨年は生徒の特技を活かせる場を探している教師より公民館へ相談があり、中学生が1人で会議の一員として参加する場面があった。当日はステージでのパフォーマンスと体験ワークショップを実施した。
- (下)ある日の公民館の様子。『よりどころinこうみんかん』『放課後☆公民館』『青少年セミナー表現倶楽部うどい』といった事業を通して、自分たちの居場所のように思っている中高生が増えてきている。子ども食堂が行われる日には、小さな子どもたちと保護者も足を来館してくれている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	57844人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和52年5月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (アクティオ株式会社) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 9588人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 61914人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 13861人 (各種イベント) 合計 85,363人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 12人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 2人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (指定管理者目標設定表によるに評価)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (プラネタリウム)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

大阪狭山市立公民館

OPEN 午前9時から午後9時まで

H P <https://www.osakasayama-kouminkan.jp/>

TEL 072-366-0070

SNS <https://www.facebook.com/osakasayamakouminkan>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

本市は東西2.4km、南北7.0km、市面積11.92Km²の小さなまちで市内公民館は本館1館のみである。

地域住民同士の繋がりや世代間の交流が希薄になるとともに、住民（特に子ども～若い世代）が「地域」に主体的に関わる機会が減少、地域コミュニティの希薄化が課題である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【若年層がいきいき活動できる場づくり】

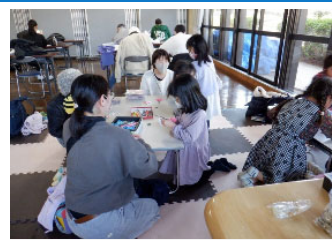
● 公民館が子どもから大人まで、誰もが立ち寄り、交流できる場でありたいという思いから、館内のふれあいフロアに地域活性化事業「よりどころinこうみんかん」を設置。ボードゲームなどを常設。月に数回、地域の団体などに協力いただきながら、こども食堂やわくわくデーとして、缶バッチづくりやミニ駄菓子屋さんなどを開催。気軽に立ち寄れる“場”づくりを行っている。

● 「一生懸命はかっこいい！！」を合言葉に中高生を対象に、地域に根差した本気の舞台づくりを通して“らしさ”を認め合える居場所として青少年セミナー「表現倶楽部うどい」を平成18年より実施。自分のまちを知り、仲間と切磋琢磨し1つの舞台を作り上げることで、まちへの愛着や涙を流すほどの感動体験をしている。

● 空き室を活用した自習室青少年セミナー「放課後☆公民館」も、青少年の大事な場所になっている。この事業は青少年の自主性を重んじており、禁止事項をできるだけ少なくしている。使用している青少年のマナーの良さで維持できている。

【市民主体の活動機会の創出と学習の還元ができる仕組みづくり】

● 公民館の全館を使い、こどもから中高生を対象に新年のイベントとして「新春こどもまつり」を開催。地域で活動している団体や府立狭山高校文化部の参画などでステージや模擬店、クラフトなど様々な体験や交流ができるイベントとして実施している。延べ4,594名の入場者があった。



よりどころinこうみんかん
わくわくデー（クラフト）の様子



「表現倶楽部うどい」公民館前でのパフォーマンス

3. 取組による成果や効果

● 放課後の時間になると小中高生が続々とやってきて、若者の声で溢れるにぎわいある場となっている。また若者以外で自習や談笑などをしている人も同じ空間を共有しており、目的は様々ではあるものの、一つの空間でそれぞれのよりどころとしての“場”となっている。

● 日々の稽古以外にも、地域の清掃活動や、福祉施設でのボランティア体験、小中学校への舞踊指導などの活動を行っている。活動を通じて芽生えた、地域への愛着や恩返しをしたいという気持ちがきっかけで卒業生を中心に「さやま未来プランナー」を結成、これまでに学んだことや経験したことを次は後輩たちへ伝えていくという流れが生まれている。

● コロナ禍で模擬店等の飲食の制限が強いられる状況を受け、イベントの開催について職員だけで考えるのではなく、参加団体へ企画段階から参画してもらい、実施方法などについて一緒に考えていくところから始めることが定着してきている。参画団体には、府立狭山高校の文化部や市内の中学生との連携を図ることができ、他の地域団体との世代間交流を行うことができた。



新年こどもまつり（ステージ）



高校生による書道パフォーマンス

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 講座や事業終了後には、参加者アンケートなどを実施し参加者の意見を集めている。
- 事業・講座実施、窓口対応などを検討・意見交換する場として職員ミーティングを実施。
- 年に1回、施設利用者会議にて、利用者より意見等を集める場を設けている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

～We are さやまなかま～に込めた思い

“さやまなかま”とは、大阪狭山市のまちを良くしようという仲間の呼称である。“まなかま”という意味は、場所を示すだけではない、自分事だけではなく、地域のこことや多様な立場の人のことも考えられる、誰かに偏らない中立な立場という意味も込めている。また、生涯学習などを目的に集まった市民と市民をつなぎ、人々の交流の場や豊かな学びの場となること。若年層がいきいきと活動できる場所をつくり子どもから大人まですべての市民が笑顔溢れる公民館であること目標に管理運営をしている。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 目まぐるしく変わる社会情勢や時代の変化に対して、子どもから大人まですべての市民が生涯にわたり「いつでも、どこでも、だれでも」主体的に学ぶことができるきっかけをつくること。
- 得た学びや気づきを通して、世代を超えて、ふれあい、交流できる機会づくり、社会教育として地域コミュニティを支えていくこと。

やさしいにほんごで学べる防災学習プログラム

大阪市立総合生涯学習センター(大阪府)

公民館の沿革・年表

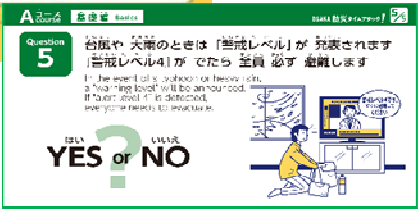
- ・平成14年 総合生涯学習センター設立
- ・平成18年 指定管理者制度を導入
- ・平成27年 神戸学院大学と包括的連携に関する協定
- ・平成30年 第70回優良公民館表彰受賞
- ・令和4年 市民向け防災学習プログラム第3弾の開発を神戸学院大学と共同で開始(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 言葉・文化・習慣の違いや災害時の情報不足などにより、さまざまなリスクに直面する外国人住民が「地震や災害に関する知識」「災害への備え」について学べ、また、「災害」という共通課題を通じて日本人住民とともに学ぶことができるため、同じ地域に暮らす住民どうしの相互支援や理解につながります。
- 学習プログラムは大阪市立総合生涯学習センターのホームページからダウンロードできます。



OSAKA防災タイムアタック! やさしいに



公民館情報		1. 公民館対象人口	277万人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成14年11月23日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input type="checkbox"/> 学級・講座 0人 <input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 0人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 179625人 (講座学習、貸室利用、講演、展示等) 合計 179,625人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 27人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 6人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 26人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 3人 職員のうち社会教育士の数 7人) 合計 59人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (専門委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (生涯学習)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (単体の生涯学習センター)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

大阪市立総合生涯学習センター

OPEN 9:30~21:30

TEL 06-6345-5000

H P

<https://osakademanabu.com/umeda/>

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

●地域社会では、高齢化や単身世帯の増加など様々な課題があり、外国人住民の増加による言語や習慣の違いから生まれる課題もそのひとつと考える。地域における市民学習・生涯学習を支援する大阪市立総合生涯学習センターと教育・研究資源を有する神戸学院大学が連携し、地域課題の解決に向けた学習と行動を市民とともに進めることを目標に防災学習プログラムの開発をおこないはじめた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【外国人のための防災プログラムを体験しよう】

実際にプログラムを体験してもらうために、市民を対象とした無料の防災講座を開催している。

学校や各種団体、企業などの研修や地域での防災学習に利用できるように、防災学習プログラムの無料貸出やホームページでの無料ダウンロードをおこなっている。

プログラムは、視聴用DVD・手引書・回答記入シート・ふりかえりシートがセットになった「オールインワンの学習キット」になっており、近い将来必ず起こるとされている南海トラフ巨大地震を想定した実践的な内容で、参加者のニーズに応じて学ぶことができる。



やさしいにほんごでBOSAI



体験イメージ

3. 取組による成果や効果

日本語を学びはじめた外国人と日本人と一緒に防災学習プログラムを体験することで、相互の理解や考え方等を体感してもらうことができる。

ゲーム形式で学ぶ第1弾「OSAKA防災タイムアタック！」は貸出開始から累計451件のべ10,205名の利用、コンパクトで使いやすくなった第2弾「OSAKA防災タイムアタック！生きぬくチカラ編」は累計294件のべ8,825名の利用となっている。



キットのイメージ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

作成した学習プログラムを体験会や貸出を含む実証によって検証し、学習プログラムの問題点や課題点を洗い出し、PDCAサイクルを繰り返すことで完成度を上げていった。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

感染症拡大による生涯学習環境の大きな変化を受け、オンラインやデジタルでの学習と今回の防災学習プログラムのような対面やリアルでの学習の棲み分け使い分けを模索し、検証していくことで、様々な分野でよりよい学習環境を市民に提供し続けられる施設であることが大切と考える。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

変化していく社会の中で、市民の生涯にわたる学習活動を支援し文化と教養を高め、市民生活の向上に寄与できる生涯学習の中核施設としての役割を果たしていきたい。

地域を学ぶ活動から生まれるつながり

洲本中央公民館(兵庫県)



公民館の沿革・年表

- ・昭和25年に設置
- ・昭和44年2月28日に鉄筋コンクリート3階建ての現公民館を新築
- ・平成16年度 優良公民館表彰受賞
- ・平成18年2月 市町合併(洲本市・五色町)
- ・平成20年4月 公民館運営審議会組織の統合
- ・平成30年4月 3階部分(旧洲本市立図書館)において、地域子育て支援拠点施設を開設

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 毎年実施している「洲本中央公民館まつり」では、講座で作成した作品を展示したり、ダンスを披露したりと地域住民の活動を発表する機会となっている。この日は、多くの住民が参加し、**子供たちから高齢者まで**幅広くつながりを深めている。
- 「淡路の魚を使った料理教室」は、淡路の地魚、地野菜を使った料理教室である。広く募集したところ淡路島外からも参加希望があるなど人気の教室となっている。御食国(みけつく)と呼ばれた淡路島の魅力を感じながら参加できる教室は、**市教育委員会と連携**した教室で、若い世代の参加者やこれまで公民館活動に参加していなかった住民を掘り起こす貴重な機会となっている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	32500人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和44年2月28日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	2724人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	22311人	合計 25,954人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	919人	()		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	3人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	合計 3人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人)				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター			
		<input checked="" type="checkbox"/> その他 (子育て学習センター)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (子育て学習センターが併設されていて、他機関との連携に取り組んでいる。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学	
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	
	(洲本市立洲本第二小学校、県立洲本実業高校、洲本市立淡路文化史料館、洲本市教育委員会生涯学習課)				

洲本中央公民館

OPEN 8:30~22:00

TEL 0799-22-1280

H P <https://www.city.sumoto.lg.jp/>

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

淡路島の中央部に位置する洲本市は、面積約182平方キロメートル、人口約41,000人（令和6年3月時点）の市民が暮らしている。洲本市は「御食国（みけつくに）」と呼ばれ、全国的に有名なタマネギをはじめとする農畜産物、ハモやサワラといった水産物が、今も市民だけでなく多くの人に親しまれている。また、戦国時代に築城された洲本城や江戸時代後期に「海の豪商」と呼ばれた高田屋嘉兵衛など、歴史のある史跡や人物が多く存在している。魅力ある特産物や歴史がある洲本市であるが、現在少子高齢化が進み、今後40年間は、さらに高齢化が進むことが予測されている。こうした中、公民館では、**地域のことを学びたいという住民の声や生きがいや交流を求める声**を受けて、様々な講座やサークル活動が展開されている。参加者は、様々な講座などを通じて、交流を深め、地域を学び続けている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【公民館講座「ふるさと探究（歴史）」（高齢者の学び支援）】

本講座（全8回程度）は、10年以上続く人気の講座である。**淡路島の歴史を学びたいという住民からのニーズは高く、毎回多くの受講者が集まっている。**古事記のイザナギ・イザナミによる国生みの話や海人族（あまぞく）による塩づくりの話など、2時間があっという間に感じるほど、参加者の満足度の高い講座となっている。

（令和5年度の講座内容）

- ①淡路島の巡礼 ②熊野信仰と諭鶴羽権現 ③国生み神話と淡路島
- ④霊峰先山と千光寺 ⑤みけつ国淡路ー古代の淡路は、どういう島であったかー
- ⑥海・山の恵みと暮らし ⑦洲本の生い立ちと発展

【すもとまなびPLUS「淡路の魚を使った料理教室」（地域の特色を活かした体験活動）】

本教室（全3回程度）は、令和5年度から**市教育委員会と連携した事業**であり、日頃公民館活動に参加が難しい**若い世代や高校生などを対象**に市民だけでなく、広く参加者を募る教室である。淡路島の恵みである地魚や地野菜を使った料理教室で、毎回参加希望が定員を大きく上回る人気のある教室となっている。

【洲本中央公民館まつり（多世代交流）】

毎年11月に開催している洲本中央公民館まつりは、**公民館講座や自主サークルの活動成果**として、受講生の作品を展示したり、ステージを作りダンスや演奏を披露したりしている。また**地域住民が気軽に参加**できるように、地元高校茶道部による抹茶を提供するなど日頃公民館を利用しない住民も交えた交流やつながりができる貴重なイベントとなっている。



「ふるさと探究（歴史）」の様子



「淡路の魚を使った料理教室」の様子

3. 取組による成果や効果

●地域の歴史を学ぶ「ふるさと探究（歴史）」は、**男性の参加や若い世代の参加が課題**となっている公民館活動の中では、比較的男性の受講率が高く、中には40代の受講者もいる講座である。また、長期間継続して開設しているため、高齢者にとってなじみのある講座として安心して受講することができるとともに、生きがいを感じ、受講者同士が交流できる貴重な機会や場所となっている。

●「すもとまなびPLUS」では、市教育委員会と連携することで他地域を含む多くの方に広報や募集が可能となり、**公民館に新しく足を運ぶ参加者**を獲得することができた。こうした取組により、公民館の周知や他の講座への参加のきっかけにつながっている。



「淡路の魚を使った料理教室」で調理した料理

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 自治会関係者や地域住民等14名で構成する公民館運営審議会を年間3回開催している。
- 参加者からのアンケートや公民館職員により積極的な聞き取り**により、教室や講座について、検証・改善を行っている。
- 市教育委員会と連携した取組により、**参加者数の向上や公民館活動の周知**を図っている。
- 幅広い世代の学びと交流の場が提供できる公民館へ移行できるように公民館運営を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

高齢化が進む地域にとって、**高齢者が生き生きと活動できる場所**は非常に貴重である。高齢者をはじめ多くの住民にとって、生きがいを持ち**継続して学び続けることができる場所**を提供していくことは非常に重要だと感じている。また、現在ある講座については、さらに幅広い世代が参加しやすく、**学びをつなげ、交流をつなげられるような活動や内容**に工夫していくことを大切にしている。



老人大学「おのころ学園」で学ぶ様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

コロナの感染拡大により多くのサークル活動や講座が中止に追い込まれ、今なお再開できていない状況にある。コロナ前のつながりを回復させることに加え、**現在あるつながりを大切にしつつ若い世代の住民とのつながりを構築**し、巻き込むような活動を考えていきたい。住民の方のニーズに応え、地域を学ぶ機会やより多くの住民が集まることができる活動を、公民館を中心に様々な団体と連携して取り組んでいきたい。



チラシ「淡路の魚を使った料理教室」

自主映画でまちづくり

鳥取市立谷地区公民館(鳥取県)

公民館の沿革・年表

- ・昭和43年 中央公民館建設、中に谷地区公民館併設
- ・昭和60年7月 新国府町中央公民館建設、元の建物は「国府町青年婦人会館」と改称、谷地区公民館は存続
- ・平成3年4月から平成8年11月まで、施設の一部を殿ダム工事仮事務所として利用
- ・令和元年8月20日に国府地区保健センターの一部を改修し、現在地に移転
- ・令和4年3月 自主映画「傘に愛をこめて 山本徳次郎」DVD完成、記念上映会開催

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 演技・撮影ワークショップの様子
令和2年11月、京都から著名な撮影監督を招聘して、高岡神社で演技・撮影のワークショップを開催した。参加者は実際にカメラが回る緊張した撮影現場を体験した。
- クランクアップスタッフ集合写真(令和3年11月14日)
8月22日のクランクインから土日を中心に全14日間行われた撮影の最終日、村祭り・傘踊り奉納と山場のシーンを撮影した。撮影終了後は公民館でクランクアップの打ち上げ、**スタッフ一同、地域をあげての成就感に包まれた。**



演技・撮影ワークショップ



自主映画クランクアップ集合写真

公民館情報		1. 公民館対象人口	1376人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	令和元年8月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2100人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3800人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 380人 合計 6,780人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 500人 (会議等)				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民自治推進委員会において、運営等について協議。)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (子育て支援センター、デイサービスセンター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (来館者に対する声掛け、告知放送での呼びかけを心掛ける)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (谷地区活性化協議会、さつき保育園、国府東小学校、国府中学校、国府地区社会福祉協議会、子育て支援センターみやこファミリー、国府東校区体育会、谷地区老人クラブ、国府地区婦人会)				

鳥取市谷地区公民館

OPEN 8:30~17:00(平日) H P <http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/tani-1/>
 TEL 0857-24-1636 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 古代遺産や多くの先人を輩出している谷地区では、谷地区活性化協議会による先人の生き方を学ぶ講座を開催し、これまでに山本徳次郎、川上貞夫を学んできた。令和元年には、「時代を切り拓いた文学者岡田美子まちづくりフォーラム」を開催、そこで自主映画づくりを通したまちづくりについて示唆された。
- 令和元年夏から谷地区の地域活性化に向けた特色ある地域づくり事業として、自主映画制作を通したまちづくりの可能性について探る事業を展開することとした。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【自主映画でまちづくり（地域資源を活用したまちづくり）】

令和元年8月、逢坂むらづくり協議会の短編映画の取組を現地視察。10月に自主映画まちづくり勉強会を立ち上げ、目的、予算、方法、計画についての協議や11月に地域創生の題材選びのためワークショップを実施した。

令和2年1月、シンポジウム「因幡の傘踊りの創始者山本徳次郎に学ぶ～地域創生開拓者：徳次郎について語ろう～」を実施し、3月にワークショップ形式で企画書づくりを実施。この時に、現代の「村づくり・人づくり」につながる映画を活用したまちづくり計画を策定した。

7月に山本徳次郎自主映画制作実行委員会を立ち上げ、制作部、資金部、広報部の3部制とし、自分たちの手で映画づくりの実現に向けて動き始めた。

10月シナリオ検討ワークショップ、11月演技・撮影ワークショップなど、8月のクランクインまでの間に数々のワークショップを開催し、「自分たちでも映画が作れるかもしれない。」という機運が盛り上がった。勉強会やワークショップを重ねていくことで、地域住民がよりよいものにしてという一体感を感じることができ、令和3年11月14日クランクアップまで駆け抜けることができた。



自主映画づくり勉強会



演技・撮影ワークショップ

3. 取組による成果や効果

- 出演者、スタッフ、協力者、保護者、地域の人々を含めると500名以上となり、多くの地域住民が自主映画づくりに関わることができた。
- 令和4年3月、コロナ禍で定員200名とした上映会が満席となった。会場からは「感動した。涙が出た。」「素人集団がよくやった。」「国府町に映画の文化が興った。百年後にも残る。」の声があがった。
- 完成した自主映画DVD「傘に愛をこめて 山本徳次郎」を市内全地区公民館、小・中・義務教育学校・高等学校、社会教育・公共施設等に進呈し、教育的活用を図った。
- 自主映画制作を通じて、地域住民一人一人の潜在的な魅力発見につながった。
- 参加者を中心として自主活動グループが新たに誕生した。
- 地元・国府東小学校の児童が学習発表会等で徳次郎自主映画主題歌を合唱曲として愛唱している。



「傘に愛をこめて」
山本徳次郎上映会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 谷地区活性化協議会の各部専門委員会、総括3部会を中心として取り組みの検証を行っている。
- 年度末に各種事業の現状や課題、活動ごとの振り返り、総括を行い、次年度につなげている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

谷地区公民館は公民館・子育て支援センター・国府町デイサービスセンター三者の複合施設であり、子どもから高齢者まで多様な人々が利用しているので、連絡調整し、安心安全な公民館事業を展開することを大切にしている。また、複合施設のため、修繕、点検、維持業務も多く、行政機関との迅速な連携強化に努めている。



公民館まつりで交流

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 世代間交流の促進
三者合同の複合施設でもあり、子ども・保護者・デイ通所者がふれあい、学び合える事業（昔遊び、駄菓子屋、ポン菓子、ちまきづくり交流など）を展開していく。
- 地域住民のスタッフ活用
納涼七夕・公民館まつり、雪合戦などの事業に地域住民でもある保育園・小学生の保護者をスタッフとして活躍させていきたい。



子育て支援の子ども達と交流

若者がやりたいことをできる場づくり

邑南町矢上公民館(島根県)



若者が企画した仮装大会の



高校生の司会の様子

公民館の沿革・年表

昭和46年 矢上公民館開設

平成21年 矢上公民館立替(名称: 矢上交流センター)

平成25年 優良公民館県教育長表彰

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●若者が中心となり企画した仮装大会の様子

40年以上の歴史のある地区のお祭り「石見やまば祭り」。長年祭りのメインイベントとして祭りを盛り上げた伝統の「山車の競演」を見直し「仮装大会」を実施した。多くの若者が運営に参画し祭りを盛り上げた。

●地元の祭りを盛り上げる高校生司会者の様子

祭りのテーマを「子ども達が楽しめる祭り」とした。その工夫として高校生による司会進行や地元小学生、保育園児によるポスターづくりなど各所に次の世代を担う子ども達の活躍の場が見られるよう祭りの構成を工夫した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2017人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和46年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	不明
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 801人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 45074人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 500人 合計 46,375人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 3人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

邑南町矢上公民館

OPEN 8:30~17:15

H P

TEL

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

矢上地区では、公民館利用者の高齢化や固定化、地域行事への若者の参加率の低下が課題となっていた。特に、地域住民にとって一番関心のある「石見やまんば祭り」への若者の参画率の低下が大きな問題であった。邑南町矢上地区の「石見やまんば祭り」は地域の伝統行事であり、住民にとって重要な文化イベントである。祭りのメインイベントである「山車の競演」は祭り当初から盛り上がりを見せていたが、少子高齢化や若者の地域活動への関心の低下、新型コロナウイルスの影響により、従来のやり方では祭りの継続が困難となっていた。特に、山車の製作は地域住民にとって大きな負担であり、若者の参加が減少していたため、祭りの盛り上がりが年々低下していた。このような背景から、若者の積極的な参画と、新しい形の祭りの実施が求められていた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

●地域団体のサポート

・団体の構成や見直し

「石見やまんば祭り」を新たな形で復活させるため、公民館は地域の若者を中心に据えた企画検討体制、実施体制となるよう実行委員会をサポートした。既存の役員の意識改革を行い、若者の意見を反映する体制へ移行した。その結果、従来の山車の製作を中止し、代わりに仮装大会をメインイベントとした。これにより、老若男女問わず手軽に参加できる祭りとなり、地域全体で楽しめる工夫を凝らした。また、公民館職員は若者リーダーをサポートし、若者が主体的に運営に関与できる環境を整えた。祭りの計画段階から多くの若者を巻き込み、若者の意見を尊重して祭りの内容を決定した。従来の役員の立場を尊重しつつ、若者の意見を取り入れる工夫をした。

・上記のふりかえりから

新しい形の「石見やまんば祭り」はコロナ前の数年よりも多くの来場があり、地域のにぎわいにつながった。しかし、有志で集まった若者スタッフだけでは、協力してもらう自治会に進捗状況等の情報共有が難しかった。したがって、翌年度からは、各自治会からスタッフを数名だしてもらい、若者スタッフと一緒に企画、運営を行うようにしている。

・情報収集のサポート

若者リーダーの発案により地域の声をより反映した祭りにするため、地域住民から「どのような祭りにしたいか」意見収集を行った。ワークショップの企画など公民館はそのサポートを行った。



実行委員の様子



矢上区民を対象としたアンケート結果

3. 取組による成果や効果

●祭りには帰省した住民や地域の子どもたちを含む多くの参加者が集まり、祭りの盛り上がりが回復した。仮装大会は好評を博し、地域住民の一体感が高まった。また、若者が企画・運営に関わることで、若者の地域への愛着や責任感が育まれた。結果として、地域の絆が強化され、今後の地域活動への参加意欲が向上した。若者リーダーが企画会議を進行することで、会議がより活発となり、良い意見が多く生まれた。

●新しい形の祭りはコロナ前の数年よりも多くの来場があり、地域のにぎわいにつながる成果となったので、役員等の意識変容につながり、翌年度からは、従来の役員と若者との協力体制につながり、スタッフ数の増加につながっている。

●祭りをきっかけに若者の公民館利用が増加した。



やまんば祭りの様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●祭りの実行委員会は、イベント終了後に参加者やスタッフへアンケートを実施、フィードバックを収集し、評価を行った。

●公民館職員と実行委員会は定期的に会議を開き、改善点や次回への提案を議論した。特に若者からの意見を重視し、柔軟で魅力的な祭りの運営を実現した。

●公民館活動推進協議会役員と協議し、実行委員会のサポート体制に関する方針を定めた。（従来は、公民館スタッフに事務局機能があり、役割分担や当日の運営に大きく関わっていたが、令和5年度より、若者が企画・運営を行い、スタッフ数も増加したことで、実行委員会を主体にし、公民館はサポートに徹するよう活動推進協議会にて共有した。）

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館は、「地域の文化と伝統を守りつつ、新しい風を取り入れること」を大切にしている。地域住民のニーズを把握し、地域課題に対する柔軟な対応を心掛けている。また、若者を地域活動の中心に据えることで、次世代への文化継承と地域の活性化を図っている。地域の多様な声を尊重し、全員が参加できるイベントを通じて、地域の一体感を醸成することを目指している。地域が主導となるよう、公民館職員は黒子となることを意識している。



キャンプ好きの若者が運営スタッフとなった多世代交流事業の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

今後、公民館はさらに多くの若者が地域活動に参画できる仕組みを整えていく。公民館主催事業も若者のニーズに合ったテーマを設定や若者が活躍できる実施内容とすることで、若者のスキル向上を支援する。最終的には、住民全員が誇りを持てる地域づくりを目指し、持続可能な地域社会の実現を図る。



若者が高校生に自身の人生観を伝える事業の様子

若者が未来をつくる ～みんなを笑顔に！～

岡山市立高島公民館(岡山県)



「たかしまキッズ夏祭り」での中高生と大人スタッフ



総合的な学習(探究)の時間「守ろう！たかしまの自然」

公民館の沿革・年表

- ・平成5年 高島公民館開館
- ・平成9年 第1回「三世代ふれあいウォーキング」開始
- ・令和元年 高島中学校区コミュニティスクール(地域協働学校)設置
- ・令和2年 学校の授業と関連づけた公民館講座の開設
- ・令和3年 「高島おしゃべりシェア会」開催
「学校と地域・保護者の協働研修会」開始
- ・令和4年 中高生ボランティア「高島地域づくり隊」結成
小学校の授業への参画を開始
- ・令和5年 「第1回 たかしまキッズ夏祭り」開催
「高島・旭竜防災教育グループ(TKB)」結成

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●「たかしまキッズ夏祭り」での模様

令和5年8月、**中高生ボランティア「高島地域づくり隊」が初めての自主企画**として実施した。当日は700人以上の小学生以下の子どもたちが集まり、大盛況だった。

●「守ろう！たかしまの自然」の模様

令和5年度から、小学校の総合的な学習(探究)の時間へ参画。事前に小学校のニーズをくみ取り、その上で公民館の多様な人とのつながりを活かし、関係機関やNPO法人、地域住民など巻き込みながら、カリキュラムから一緒に考えていくことが特徴である。写真は、地元の川でフィールドワークを行ったときの様子。

公民館情報		1. 公民館対象人口	20537人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成5年2月15日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	20台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	30613人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	7505人	合計 48,061人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	9943人	(図書貸出等)		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	1人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	合計 5人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人)				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (環境学習、男女共同参画)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ())				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (小中学校の近くにあり、平屋建で、交流がすむ広々としたロビーを備えている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
	旭竜認定こども園、旭竜小学校、高島小学校、高島中学校、岡山支援学校、東岡山工業高等学校、岡山理科大学、就実大学、岡山大学、専門学校ビーマックス、(株)フジタ地質、(株)ほいらく、NPO法人まんなか、岡山淡水魚研究会、医療法人たぐふ会、社会福祉法人昭友会、介護老人保健施設古都の森、おやこクラブ、学区連合町内会・コミュニティ協議会・婦人会他、龍ノログリーンシャワーの森を守る会、賞田農家組合、備前国府総社宮、国交省百間川事務所、環境省中四国地方環境事務所、関係行政機関				

岡山市立高島公民館

OPEN 9:30-21:00 日曜9:30-17:00

TEL 086-275-1341

H P <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000011212.html>SNS <https://www.facebook.com/ayumodoki2013>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

当該地域は市街地に近い、自然に恵まれた地域である。近年では住宅地が広がり、人口が増加しているが、地域活動の担い手不足が課題となる一方、中高生の活躍の場が限られていた。令和元年度からコミュニティスクール(地域協働学校)が設置され、公民館職員が委員になったことや、20～50代がゆるやかにつながる「高島おしゃべりシェア会」での声から、若者の参画による地域活性化や、学校と地域の連携に対するニーズがわかり、子どもを核とした地域づくり事業を新たに立ち上げることとなった。

2. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

開館以来、地域の様々な人や団体が公民館活動に関わり、地域の拠点になってきた。現在は公民館がコーディネートすることで学校をはじめとした様々な主体と連携・協働し実施している。

●【協働研修会での熟議(地域学校協働活動の推進)】

学校と地域・保護者との協働研修会と称して、「地域とともにある学校づくり」への理解を深め、「地域学校協働活動」の充実を図るための研修会を公民館主催で開催。教員・保護者・地域住民が同じテーブルにつき、「地域で育てほしい子ども像」を共有し、取組についてアイデアを出し合うなど、**熟議の場となるように工夫し、協働の機運を高めている。**

●【高島地域づくり隊(若者のまちづくり参画)】

地域で中高生が活躍できる場をつくろうと、中高生ボランティアチーム「高島地域づくり隊」を結成。中高生たちは、地域から要請のあった行事でのボランティア活動だけでなく、**「高島の人を笑顔にする活動」**として、「たかしまキッズ夏祭り」など自主イベントの企画・運営を行っている。

●【高島・旭竜防災教育グループ(TKB)(地域防災・減災、担い手育成)】

防災士、PTA役員などを中心に「高島・旭竜防災教育グループ(TKB)」を結成。小学4年の授業「災害からみんなを守るために」で活用する動画教材を町内会長や西日本豪雨で被災した真備町の小中高校の協力を得て制作。また、体験講座「たかしま防災クエスト大作戦」を「高島地域づくり隊」の**中高校生、工業高校、大学、消防署などと連携して実施した。**

●【小学校の授業への参画や支援(学校との連携)】

PTAと協働して中学生も巻き込みながら、小学校動画教材「高島生き方辞典」を制作したり、地域の自然を探究するなど、**地域の人材や他機関とのつながり**を活かして授業を支援。



「たかしまキッズ夏祭り」



「たかしま防災クエスト大作戦」の
モンスターズクイズの様子

3. 取組による成果や効果

- ・公民館の利用人数の増加…令和元年度45,824人→令和5年度48,061人
- ・公民館事業に係る主体の増加…PTA、高校、大学、NPO、企業など
- ・「高島地域づくり隊」…登録人数の増加 令和4年度：中学生24人→令和5年度：中学生36人、高校生7人、令和5年度の活動は、年間39回のうち地域のボランティア活動16回、研修会や自主企画イベントが23回となっており、**地域から感謝の声が多数あがっている。**
- ・学校の授業と連携した講座や参画した授業の増加…令和元年度1回→令和5年度10回
- ・協働研修会の参加者の広がり…令和5年度から**中高校生も参加**



小学校の授業の様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・各事業ごとに参加者へアンケートを取り、その結果を各事業の企画・運営メンバーと共有し、次の活動に活かしている。
- ・「高島地域づくり隊」では、各取組の検証時間を毎回確保し、地域づくり隊として、また個人として、できたことと改善点を出し合い、次の活動に反映している。年度末には、**地域住民の前で活動の報告会を開き、対話をとおして振り返りを行っている。**
- ・公民館全体の運営については、公民館運営協議会でだされた意見、成果と課題をもとに、次年度にむけて見直しを行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・**地域づくりの主役は住民**であるということ
- ・住民が活躍し、主体的に企画・運営していく活動となるように支援していく
- ・若者や若い世代など新たな人を巻き込んでいくための仲間づくりやフレンドリーで楽しい雰囲気づくり
- ・多様な主体とつながっていけるように情報収集に努め、**新しい取り組みへ挑戦していく姿勢**



協働研修会の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

岡山市公民館基本方針での重点取組である「若者が未来をつくる」活動の具体化に取り組んでいきたいと考えている。未来の主役である子どもたち・若者の地域での活躍の場の創出に力を入れ、そして地域課題解決や活性化に向けて、地域内外の様々な団体と協働しながら、**地域も若者自身もわくわくする活動へ**と展開していきたい。



高島地域づくり隊のメンバー

伝統を未来へつなぐ 神代和紙

新見市神郷公民館(岡山県)



卒業証書の紙漉き



ミツマタの皮むぎ

公民館の沿革・年表

- ・平成17年 新見市神郷公民館開設(一市四町合併)
- ・平成28年 神代和紙保存会設立
- ・平成29年 神代和紙伝承教室の開設
(神代小児童・一般対象の教室)
- ・平成30年 園児対象の神代和紙伝承教室開設
(神代認定こども園・新郷保育所)
- ・令和4年 神代和紙保存活動の開設
- ・令和5年 神郷北小の神代和紙伝承教室開設

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 神代和紙伝承教室「卒業証書の紙漉き」の様相
令和5年から、神郷地内2小学校で6年生全員が卒業証書の紙漉きを行っている。保存会員との交流を通して郷土の伝統文化への知識理解を深め、会員の努力や熱意にふれながら郷土愛を高めている。
- 神代和紙保存活動「ミツマタの皮むぎ活動」の様相
上質な神代和紙を継承するには、原材料作りが大切となる。その工程を楽しく学んでもらうことをとおして、地域住民の理解を深めている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1500人	3. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
		2. 建物設置年月日	平成17年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	20台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 820人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 1400人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 530人 合計 2,900人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 150人 (第32回神郷芸能文化祭)				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (新見市役所神郷支局) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (中庭を囲む回遊型複合施設(やまびこ広場神郷)内にあり、250名収容の大ホールもあり利便性が高い。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (神代認定こども園、神代小学校、神郷北小学校、新見公立大学、いつも元気な高瀬乃里、新郷地区振興会、神代和紙保存会、神郷文化協会、神郷放課後子ども教室、新見市健康医療課、新見市教育委員会、新見市役所神郷支局、神郷公民館9分館等)				

新見市神郷公民館

OPEN 8:30~17:15 H P

TEL 0867-92-6110

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

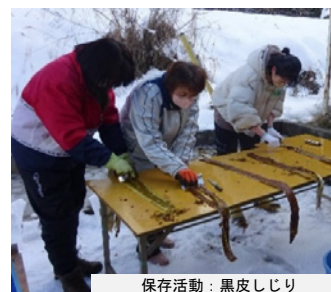
- 約千年もの長い歴史と伝統をもつ『神代和紙』は、わずかな地域住民により紙漉きの技法が継承されていた。平成28年に若手後継者により『神代和紙保存会』が設立され、現在は会員11名で活動の場を広げている。
- 神代和紙の伝統を大人だけでなく子ども達にも継承したい**との思いで、平成29年から「神代和紙伝承教室：卒業証書の紙漉き」を始めた。さらに「**神郷地内のもう一つの小学校児童にも貴重な体験をさせてほしい。**」と要望を受け、昨年から2小学校の6年生を対象とする。同年、原材料にも視点を当てた保存活動も始めている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- 【神代和紙伝承教室：園児や小学生への伝承（伝統文化継承活動）】
平成29年に開設した「卒業証書の紙漉き」は、当初は神代小だけが行っていたが、地元の要望を受け、令和5年からは神郷地内2小学校に活動を広げている。保存会員の手ほどきを受けながら、**助言を聞きもらさないように集中して漉く子どもたちの姿は真剣**そのものである。この交流を通して、**郷土の伝統文化への知識理解を深め、会員の努力や熱意にふれながら郷土愛を高めている。**また、平成30年からは夏のイベントに向けて、「灯籠づくり」で園児や小学生と交流を始めた。神代和紙は丈夫で破れにくいことや、水で濡らすと手で簡単にちぎることができる等の特長を教えてもらいながら楽しく交流している。イベント当日は、自分が描いた灯籠を探し、「あった。あった。」と喜ぶ子どもの姿が見られた。自分が関わることで、イベントに対する思いも前向きとなっている。
- 【神代和紙保存活動：ミツマタの皮むぎ・黒皮しじり体験（伝統文化継承活動）】
令和4年から開設している「ミツマタの皮むぎ・黒皮しじり体験」は、会員から「**上質な神代和紙を漉くには、上質な原材料が大切。**」と話を伺ったのがきっかけで取組を始めた。約5時間しっかり蒸したミツマタは、力を入れて引っ張ると枝先まで一気にむくことができる。さらに、皮の黒い部分を丁寧に取り除く黒皮しじりの作業に挑戦した。参加者は細かい手作業の大変さを実感し、改めて、**原材料の大切さに目を向けるきっかけ**となった。



夏のイベント：かみさま夢灯籠



保存活動：黒皮しじり

3. 取組による成果や効果

少子高齢化、人口減少の課題を抱えているが、一人一人の関わる密度は濃い。伝承教室や保存活動を仕組むことにより、**大人から子どもまで様々な年代の方**に神代和紙に関わる機会を設けることができた。各校園をはじめ、関係機関と協力でできていることも大きい。子ども達は、「**卒業証書をもらうのが楽しみ。最高の宝物と思い出。**」と目を輝かせていた。このように、神代和紙の歴史と特長を学ぶ場を工夫したり、若手後継者の活躍を広報したりすることにより、地域住民の伝統文化への理解が深まっている。会員は、小学生からお礼の手紙をもらい、一人一人の顔を思い浮かべながらとても嬉しそうであった。反響も多くなり、会員にとっても活動意欲が向上し**新たな地域おこし**に結びついている。



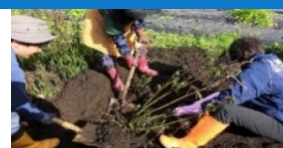
小学生からのお礼の手紙

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 地域の多くの団体等と連携を図りながら活動を行っているため、入念な打ち合わせを行い、実施後は必ずアンケートや電話などで感想をもらい**細やかにニーズを掴み**改善に努めている。（**P D C Aサイクルの実行**）
- 神郷地内には本公民館の他に9分館が設置され、各分館長で構成する実行委員会が公民館事業に関して協議を行い情報共有している。特に、講座の募集依頼や参加者の集約、講座後の反省を取りまとめ、**住民の意見を反映**している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

「ひと・もの・こと」をつなぐ**ハブの役目**を担う公民館として、日常的な会話やアンケート等を大切にし、細やかなことを見逃さず、聞き逃さず**タイムリーで正確な情報収集**を心掛けている。特に、地域の伝統工芸である神代和紙は、原材料（ミツマタ、コウゾ、トロロアオイ等）や完成品の活用用途において**SDGsの視点**からも意義深く、**地域資源を活用したまちづくり**を推進する。

トロロアオイの根
繊維をからめるためのネリを抽出

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

今春、市内の若手6名が実行委員会を立ち上げ、『地域の魅力をほり起こし伝えよう』をねらいとしたイベントを企画した。その際、公民館に「**ぜい皮むぎ体験を取り入れたい。**」との依頼があり、ボランティアを募りサポートした。当日は県内外から約300名が訪れ大盛況となり、今後につながる活動となっている。**住民自らが企画し楽しみ、満足感が高まる活動**を多く設けていきたい。



地域の若手が初企画のイベント：ムグフェス

主役は地域@みんなの想いをカタチにします。

広島市美鈴が丘公民館(広島県)



フラワーボランティア花・花により手入れされた公民館入口



きらきらプロジェクトによるイルミネーション

公民館の沿革・年表

昭和62年 美鈴が丘公民館開設
 平成18年 美鈴が丘公民館指定管理開始
 平成29年 美鈴が丘公民館改修、エレベーター設置
 令和 2年 「フラワーボランティア花・花」活動20周年の
 感謝状を(公財)広島市文化財団から授与

左図・写真の説明など

公民館は各種地域団体による「みすずきらきらプロジェクト」活動を支援しており、その成果として子どもたちが絵を描き、大人や高校生の協力により手作りしたイルミネーションを、11月末から1月にかけてバス通りに面した公民館敷地に設置・ライトアップした。

明るい街にしたいという製作した人たちの思いが、地域の人たちに伝わり、「元気がもらえる。」「これからも続けてほしい。」などの声が寄せられている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	9,466人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和62年5月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財) 広島市文化財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 6,152人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 15,292人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3,361人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 21,354人 (コピー、図書室等利用10,455人、地域団体等10,899人) 合計 46,159人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 6人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (指定管理料)				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (環境講座、美鈴お達者クラブ、アングーマネジメント講座、防犯講習会、スマホ講座、茶道・和太鼓体験、まごころ弁当作り体験)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (和室が二部屋あること。駐車場が広いこと(28台:うちおもしろ2台))				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 サムエル認定こどもの園、美鈴が丘小・中学校、高等学校及び各PTA、美鈴が丘児童館、まちづくり協議会(団地内のまちづくり10団体が加入)、広島工業大学、佐伯区役所、美鈴モール商店街など				

広島市美鈴が丘公民館

OPEN 8:30~22:00

H P <http://www.cf.city.hiroshima.jp/misuzugaoka-k/>

TEL (082) 927-1727

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 美鈴が丘団地造成後46年が経過し、高齢化が進展しており、人口もピーク時の約12,000人から現在では9,466人に減少している。(令和6年3月末日現在：人口9,466人、うち65歳以上4,081人・高齢化率43.1%)
- 一方で、年間約100軒程度の家が建て替えられるなど、他の地域から若年層が転居してくる傾向も見受けられる。
- こうした中で、住みやすく元気で明るい団地にするためには、若年層（特に乳幼児から小学生の子どもを子に持つ親）に地域をもっと知って（誇りを持って）もらうとともに、以前から居住している住民との交流を積極的に進めていく必要がある。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

若年層の方が地域やまちづくりに関心を持ち、地域との交流を図ってもらう取組に注力している。

- 楽しく防災を考えよう【令和5年5月27日】(令和5年度初開催)

・自主防災会と協議の上、消防署をはじめスーパーや大学の協力を得て、防災への関心を高めってもらうため、若年層親子を対象に、災害に関する学習会を実演や体験を取り入れて開催。**公民館前の商店街（美鈴モール街）にも協力を依頼し、キッチンカーイベントを同時開催し、集客性を高めた。**

- わ・わ・わ広場（小学生の生活・学習支援）【令和5年8月17日～19日】(令和5年度初開催)

・児童が夏休み明けに元気に学校へ登校できるよう、民生委員・児童委員協議会や更生保護女性会と協議の上、美鈴が丘高校生ボランティアの協力を得て、宿題の支援や交流のためのレクリエーションを開催した。

- みずききらプロジェクト【令和5年11月25日～令和6年1月13日】(令和4年度から開催)

・まちづくり協議会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、青少年健全育成連絡協議会、更生保護女性会、PTAなどの協力を得て、バス通りのイルミネーションを前年から1か所増の5か所にするるとともに、新たに公民館中庭に額縁をイメージした「映えスポット」を地元高校生がデザイン・製作したり、ライトアップ期間の延長を行ったりした。また、美鈴モール街にも協力を依頼し、バス通りの4店舗が同時期にイルミネーションを実施してプロジェクトを盛り上げた。

・公民館も12月に「公民館の窓をX'masの絵で飾ろう」「ペットボトルキャップでかわいいリース」「みんなでX'masツリー」「おりがみひろば」を開催し、参加した親子が館内をクリスマスの装飾にするるとともに、コンサートや子ども服のお譲り会を実施し盛り上げた。



楽しく防災を考えよう



わ・わ・わ広場



公民館の窓をX'masの絵で飾ろう

3. 取り組みによる成果や効果

- 楽しく防災を考えよう

小さな子どもを連れた若い父母などが多数参加し、「楽しみながら土砂災害などについて学べた」「消防車に乗って楽しかった」などの声が多く寄せられた。

- わ・わ・わ広場

高校生ボランティアが、当日の子どもたちの状態を見ながら協議し、進行・運営を行った結果、参加した子どもたちは、宿題の見直しを行ったり、生活リズムを取り戻すことができた。また、高校生ボランティアは、子どもたちの交流を図ることができた。参加した小学生から、「楽しかった」「来年もやって」といった声が多く聞かれるなどの満足度が高かった。

- みずききらプロジェクト

初年度に比べ認知度が高くなったことや、内容等が充実したことにより、地域の方から「毎年実施してね」「綺麗」「元気が出る」などの声が多く寄せられた。



イルミネーションを
バス通りに設置している様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 各プロジェクトとも、継続して行うことで団地の地域力を高めようとしており、事業終了後にボランティアを含めた関係者で**反省会を実施するなど、各団体と公民館が情報を共有することで、各事業内容の充実・改善に努めている。**

また、小・中学校、高等学校などと適宜、事業への関わり方などについて協議を行い、子どもたちが主体的に参加できるように取り組んでいる。※各事業とも、令和6年度も地域、学校と連携して実施。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 誰もが気軽に立ち寄れる、笑顔あふれる公民館

挨拶が基本。(おはようございます。こんにちは。こんばんは。)ロビーに佇んでいる人を見たら「何かお探ですか。」「何か御用ですか。」など、こちらから**積極的に声掛けを行う。**

- ボランティアの皆さんのモチベーションの維持・向上

気持ち良く積極的に活動してもらえよう、改善点など話し合いながら事業を行い活動をPRしている。



ボランティアとプール遊び

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域の課題を地域の皆さんと一緒に考えて行動していくため、地域と行政、学校、商店街・企業を繋いだり、**単に公民館だけでなく団地全体の活性化を目指していきたい。**具体的には、ハロウィンの時期に、ジュニアリーダー（子ども会OG）やママス＆パパス（元小・中PTA）などと一緒に公民館・美鈴モール街を盛り上げるイベントを企画中。



子ども服のお譲り会

住民が主役の学び・楽しみ・創る「まちづくり」

府中市旭公民館(広島県)



落語会でみんなが笑顔に



地域住民が学ぶ防災講座

公民館の沿革・年表

- 昭和45年 府中市旭公民館を開設
 昭和62年 現在地に公民館新築(3月)
 平成30年 府中市立旭小学校コミュニティ・スクール設置
 平成31年 府中市立第一中学校コミュニティ・スクール設置
 令和4年 市内各公民館の運営審議会を廃止(3月)
 旭公民館運営委員会を新設(4月)
 公民館長(非常勤職員)1名体制に
 地域学校協働活動連携

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 旭寄席(写真上)
 平成27年3月に関西の噺家による落語会を開催。その後、児童から大人まで落語を学び、練習し、お客として聴くだけでなく、演者として落語を噺す人たちが増えていった。来館された方からは「次も楽しみ。必ず来るよ!」「期待してます」など、落語を共通したテーマに、住民が集いやすい公民館となった。
- 防災講座(写真下)
 昭和20年の台風でこの地域が豪雨で水没、被災した状況を計28回、公民館だよりに掲載。令和元年以降、講師を招聘して地域の防災・減災の具体策を学び、住民が身近に考える講演会を開催している。

公民館情報		1. 公民館対象人口	5,313人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和45年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2,929人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 8,566人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 250人 合計 11,745人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 1人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館運営委員会(10名))				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学びの成果を発表⇒ふれあい祭り、府中学びフェスタ、府中まるごと大公民館展)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (中須たま保育園、旭小学校、第一中学校、広谷町内会、中須町内会連合会、府中市教育委員会)				

府中市旭公民館

OPEN 9:00~21:00

H P https://www.city.fuchu.hiroshima.jp/soshiki/kyoiku_jinkai/kyoikuseisaku/shisetsu/kouminkan/1178.html

TEL 0847-45-5903

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

かつては地域がひとつになって取り組むテーマがなく、夏祭りや年末年始の行事ぐらいしか町が盛りあがることがなかった。そこで、地域のニーズや課題を把握して、公民館または地域団体など多くが満足できる成果をめざし、連携して実施する仕組みを作った。まず、日頃は集まることがなく、地域の住民同士でも顔を知らない、名前もわからないという状況をふまえて、**公民館という拠点に「人が集まる」**ための方策を探った。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【楽しむ】

上記のような地域課題に対して、何か**世代を越えて、みんなが一緒に楽しめる**ことがないか模索していたところ、地域の方の同級生に関西の噺家がいことから、公民館で落語会を催すことになった。当日は想像以上の人気で公民館が超満員となり、この盛り上がりきっかけとして、若手落語家を招いて年1、2回落語会を開催することになった。

一方、子どもたちが、自らの落語を地域で披露できるよう「みんなでつくる旭寄席」を企画。

子どもたちが落語を学び、地域ごとに住民に披露した。さらに、公民館で練習した落語を披露できる催しも企画した。子どもたちの取組を契機として地元の地域住民を巻き込んでいる。

【学ぶ】

地域の現状を踏まえつつ、過去の災害に学び、最新の防災・減災などの**社会的な要請がある課題**について、**地域団体や公民館など地域全体で取り組む**体制を構築することを目指しており、公民館がリーダーシップを発揮し継続して行う重点課題として取り組んでいる。

目標は、多くの地域住民が運営に参画し、全世帯が我がこととして防災フェスタ等に参加することである。



毎年盛況の落語会



「防災フェスタ」

3. 取組による成果や効果

●特徴的な取組による成果・効果

- (1)落語を通したまちづくりにより、**笑顔があふれ**来館者の表情が明るくなった。
- (2)新たな分野であるので、係わってもらう人たちも広がり、来館する**顔ぶれが多彩**になった。

具体的には、過去5年間の平均年間利用者数は、新型コロナウイルス対策の期間だったが、11,408人で地域人口の2倍以上となった。

●これまでの取組全体による成果・効果

- (1)「今まで公民館に行ったことがない」人たちが、**他の行事に参加**するようになった。
- (2)イベントのお客やサークルの利用者として来館された方が、公民館主催の行事への**出演や準備など、参加から参画へ移行**するケースが増えた。



「旭元気もりもり体操」
保育所園児と高齢者との交流で、
みんなが楽しく元になります！

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

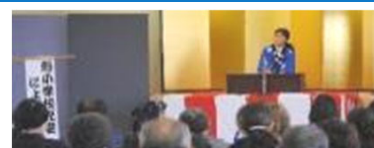
●旭公民館運営委員会…運営委員10名と公民館長及び市教育委員会の担当課の構成で開催し、幅広く公民館活動全般にわたり協議している。事業報告などについて参加者や地域住民の意見や要望を検討し、次年度の活動計画を決定している。

●公民館利用者…館内に「ご意見箱」を設置しており、利用者から寄せられた「アンケート」の内容について、公民館及び教育委員会と共有し、住民に対する説明を行うなど改善を図っている。また、公民館職員に課題を話していただけるよう、日頃からサークルや外部団体、地域住民とのコミュニケーションを積極的に図るよう意識している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

●地域文化活動・学びの場の拠点として、地域団体と連携して**社会課題解決**に対応。

●**地域住民のふれあいの場、子どもの居場所**として、楽しんで利用し易い環境づくりに努める。特に、情報交換・発信力を強化し、「旭公民館だより」を計24回発行し、市のHPへデジタルデータでアップしている。また、スマホやパソコンを利用できない高齢者には、紙面で回覧する方法を行っている。



旭小児童による落語

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

地域における“まちづくり”の拠点となるよう、ICT、インターネット環境が整備されたので、情報発信のツールとして活用していきたい。また、既に児童や生徒、園児が公民館へ来てサークルとの体験・交流を行い、学校や家庭で学べないことも体感し、効果を実感しているところであるが、公民館がコミュニティ・スクールである管内の小学校と中学校と連携して、地域学校協働活動のさらなる活性化に向け協力していきたい。



館長が児童に公民館を説明

油木の宝が宝(子ども)を育てる

神石高原町油木協働支援センター(広島県)



油木の歴史を語る化石に釘付け！



ルービックキューブを自動で揃える機械に夢中！

公民館の沿革・年表

昭和32年 油木公民館開設

平成16年 神石郡内4町村合併、神石高原町誕生

平成19年 地域学校協働活動事業開始

平成28年 町内各地区協働支援センター設立

平成29年 町内各地区公民館が協働支援センター
生涯学習事業部に移行

地域学校協働活動事業文部科学大臣表彰

平成31年 油木協働支援センター「分室」開設

令和3年 「にしかわ化石館」開設

※地元の化石・鉱物の収集・研究家であった故西川功さんの
遺志を継ぎ、功績を称えることを目的に開設した資料館

(約7,000点の化石・鉱物等を収蔵)

令和6年1月 「にしかわ化石館」来館者1,000名達成

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●「にしかわ化石館」発 油木の歴史大発見(写真上)

「にしかわ化石館」を拠点とした活動において、地域住民や子どもたちが地域の地層や化石・鉱物に実際に触れることで、地域の自然・歴史への興味・関心をもつことにつながった。

●なるほどだ！ワールド おもちゃが動く謎を解け！(写真下)

地域住民が、退職後に独学で研究・製作した教材(動くおもちゃ)を使い、講師として学校で授業を行うことで、学びの成果を還元することができた。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1,878人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成28年5月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	4台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (油木協働支援センター) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 151人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5,871人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 125人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 275人 (ゆきキッズクラブ(放課後子ども教室)) 合計 6,422人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 5人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 4人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 9人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (油木協働支援センター幹事会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ゆきふるさとまつり、保育所・小学校での花いっぱい運動、ゆきキッズ、ドローンによる催事撮影会など)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (にしかわ化石館) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (分室に地域の方が収集された「化石・鉱物類」を展示した「にしかわ化石館」を併設し、体験活動等を実施。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (協働支援センター内専門事業部(福祉・農商業推進・地域づくり・社会教育/生涯学習)、油木保育所、油木小学校、神石高原中学校、県立油木高等学校、自治振興会)				

神石高原町油木協働支援センター

OPEN 8:15~17:00

H P

<https://www.yukikyoudou.com/>

TEL 0847-82-0701

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

平成16年の合併により「協働によるまちづくり推進事業」が進められる中で、推進事業の中のひとつとして「生涯学習事業」が扱われるようになった。「協働のまちづくりには社会教育は必要なし」「事業や教室は楽しければ良い」といった声上がる等、「生涯学習（社会教育）」に対する意識が薄まっていた。

令和3年に分室内に「にしかわ化石館」が開館したことにより、主に神石高原町内で採掘された鉱石や化石を収集し学びを喚起するといった先人の取組が目ざされ、地域住民の中から、「先人の学習成果を地域社会に還元するべきではないか」といった声が上がってきた。

当センターは、そういった地域の声を踏まえつつ、「生涯学習の理念」（教育基本法第3条）を具現化するための**学びの機会を創出する役割を担いながら、「協働のまちづくり」の基盤づくりの役割を担う場としても活動**することを目指している。また、**学校教育と社会教育の連携・融合の重要性を発信し、喚起する場**としての役割も果たしていきたいと考えている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【学校教育と社会教育の連携・融合】

(1)「にしかわ化石館」発 油木の歴史大発見

当センター主催の化石魅力化プロジェクトでは、「にしかわ化石館」の資料展示だけではなく、「化石発掘」「化石クリーニング」「レプリカ作り」等の体験活動をプログラムに取り入れ、「**実物を見る・触れる**」等の**学習の場を提供**している。

本事業では、「にしかわ化石館」の開館の際にも支援をいただいた前豊橋市自然史博物館長（油木出身）を講師に招き、油木小学校児童を対象に「化石から学ぶ体験教室」を2日間開催した。専門家の指導のもとで児童は**地域資源を体験的に学ぶだけでなく、地層から学ぶ地域の歴史等の知識についても習得**した。

(2)「なるほど！ワールド おもちゃが動く謎を解け！」

地域の中には、自身の職業体験を通じていろいろな事象に興味・関心を持ち、退職後に独学で研究・創作活動などを行い、その成果を社会活動に生かし、社会に還元したいと考えている人も多い。

本事業では、独学で研究・製作した方が、油木小学校の6年生を対象とした理科の授業において、自作のおもちゃを学習教材として活用し、「動くための動力」についての講義を行った。

この学習を通じて、児童は、図画工作科や音楽科との関連や、中学校の理科や技術分野等に**関連する学習への意欲が高まるなど、多面的・多角的な興味・関心を高めるきっかけ**となった。さらに、学校の先生ではない、身近な地域の大人が講師として学びに関わってくれる体験を通じて、子どもたちは地域の大人を知り、関わるよい体験となった。

また、講師は自らが学んだ成果を生かす（発信する）機会を得たことにより、さらに学びに対する意欲が高まり、今後の研究・製作にも意欲的に取り組むことにつながっている。



地域は宝の山！



湿度・気圧・電磁石などが動力のおもちゃ

3. 取組による成果や効果

●学校の管理職が計画段階から積極的に関わり、全面協力を得ることができた。教職員も授業を通じて**地域活動者の存在や生涯学習への理解**を深めることができた。

●体験活動・学習において、普段目にする機会のない**「実物教材」である「地層」や「動くおもちゃ」に「触れる」「見る」ことで興味・関心（驚き）が生まれ**、さらに学習の理解が深まった。

●学校と連携した取組をきっかけとして、当センターの事業に**これまで参加していなかった児童が初めて参加**した。保護者からは「自分から参加したいと言った。ワークショップのまとめも楽しそうに取組み、自由研究のよい学習となった。」等の声が寄せられた。



ゆきキッズクラブの取組も活発！（地域学校協働活動）

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

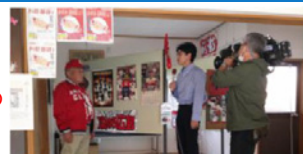
●各自治振興会会長・各種団体代表者・識見を有する者で構成された幹事会を年間4回程度開催し、生涯学習関係事業の計画・実施・結果等について意見交換を行い、取組の改善・検証につなげている。また、**当センター長が油木小学校・神石高原中学校の運営協議会委員として会議に参画することにより、学校教育との連携・協議が活性化**している。

●「にしかわ化石館」に関わる事業等については、「化石魅力化プロジェクト」が中心となって計画・実施・結果等を検証している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

「社会教育」を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり(学びと活動の好循環)

少子高齢化による人口減少・後継者不足、産業の衰退等、いわゆる過疎化によりコミュニティが成り立たなくなる状況にある。当センターが核となり、**生涯学習を通じた「文化的・精神的な活性化」や、課題解決のための学習と学習成果を生かすための「環境整備」と、それらの活動・営みによる地域住民・関係者の「意識改革」を進めていく必要がある。**



NHKの取材の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

当センターは、「にしかわ化石館」を**「生涯学習の拠点」**と考える。「学社連携・融合」の取組を通じて、児童・生徒においては「学力の向上、豊かな心の育成、公共の精神の育成、地域理解等」が進み、地域においては「教育に対する関心の高まり、教育力の向上、生きがい・やる気・充実感の向上等」が生まれている。この成果を地域の中で生かすことが大切であり、これらの取組を**「地域づくり・まちづくり」**への土台としていきたい。



「生涯学習の拠点」に人が集う

こころゆたかでやさしくなれるまちゆや

長門市油谷中央公民館(山口県)



公民館の沿革・年表

昭和42年 油谷町公民館発足(石原小学校跡を利用)
 昭和48年 油谷町中央公民館竣工
 平成17年 油谷町が市町村合併により長門市となる
 平成20年 長門市文化会館(ラポールゆや)に油谷中央公民館が移転
 平成24年 第65回優良公民館表彰受賞
 令和03年 山口県館報コンクール優良賞受賞
 令和04年 山口県館報コンクール優良賞受賞
 令和05年 山口県館報コンクール奨励賞受賞

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●子どもと学ぼう&カレーライスとサロンの日
 少子高齢社会となっている長門市油谷地域において「学校を舞台」として子どもたちと地域住民が学び合いかわり合うことで、地域住民の「健幸づくり」の一助になることを目的として、公民館、学校、ゆや地区社協の3組織が合同で開催している。地域住民が油谷地区の学校へ訪問し、子どもたちと一緒に授業を受け、サロンとして生涯学習グループや子どもたちによる発表会や講演会などを開催。最後は地域の食材を入れたカレーライスによる会食を行う。

公民館情報		1. 公民館対象人口	4864人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成9年10月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	200台(4部屋×50)
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 331人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 16624人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2,819人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 6174人 (図書館来館者)				合計 25,948人
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (油谷地区公民館運営協議会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (長門市文化会館ラポールゆや)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (大ホール、コミュニティホール、視聴覚室、研修室、ロビー、休憩室等)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				
	長門市立菱海保育園、向津具保育園、長門市立油谷小学校、長門市立向津具小学校、長門市立菱海中学校、山口県立大津緑洋高校、山口県立下関北高校、油谷地区自治会連絡協議会、油谷婦人会、油谷地区社会福祉協議会、長門市スポーツ推進委員協議会、油谷スポーツ振興会、油谷の文化を高める会、NPO法人しげんとあそびたい、地域文化育成事業実行委員会、青少年育成市民会議油谷支部、子ども会育成連絡協議会、食生活推進委員協議会				

長門市油谷中央公民館

OPEN 8:30~22:00

TEL 0837-33-0051

H P <https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/45/>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

長門市生涯学習推進計画では、公民館は生涯学習の拠点のみでなく、地域の課題解決に向けて、公民館を拠点に取り組む事業を支援する仕組みづくり、すなわち地域づくりの拠点としても機能するよう位置づけられている。

油谷中央公民館は、地域住民と学校との交流を促し、地域の絆による協力社会・知の循環する社会を創造するために、社会福祉協議会と学校そして公民館のトライアングルを核として地域全体をつなぎ・結びつけ、互いに活かし合いながら油谷地区住民を支援していくことを通して、一緒に汗する「協働」の体制を構築していくことをめざす。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【おしかけふれあい塾（多世代交流・地域と学校の交流）】

油谷中央公民館を利用している社会教育関係登録団体（生涯学習グループ）が油谷地区内の小中学校へ行き、普段の活動を活かした様々な交流を行う。学校と連携をとり、地域の人々と児童、生徒のふれあいにより「地域の子どもを地域総がかりで育てる」場を作る。

【子どもと学ぼう&カレーライスとサロンの日（多世代交流・地域と学校の交流・少子高齢化）】

地域住民が油谷地区の学校へ訪問し、子どもたちと一緒に授業を受け、サロンとして生涯学習グループなどの地域団体、子どもたちによる発表会や講演会などを開催する。最後は地域の食材を入れたカレーライスによる会食を行う。少子高齢化が加速度的に進んでいる油谷地域において「学校を舞台」として子どもたちと地域住民が学び合いかわり合いながら、互いのよさを実感することなどをおとして、地域住民の「健幸づくり」の一助になることを目的とする。



おしかけふれあい塾・寿藤会による舞踊の授業（油谷小学校）



子どもと学ぼう&カレーライスとサロンの日（向津具小学校）

3. 取組による成果や効果

【おしかけふれあい塾】

・R05年度 開催数・延べ22回 社会教育登録団体参加人数延べ93人、児童生徒参加数延べ591人

・社会教育登録団体の活動を活かし、子どもたちとの有意義な交流を実施できた。

【子どもと学ぼう&カレーライスとサロンの日】

・R05年度 年4回開催 地域住民参加人数延べ182人（前年度より79人増加）

高齢の参加者が子どもたちと交流できる貴重な機会となり、高齢者の健幸づくりの一助となった。

【公民館の取組全体に関すること】

・学校の学習活動の支援や交流環境整備によって地域と児童生徒の交流活動が実施できた。



公民館運営協議会総会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・油谷中央公民館運営方針及び事業計画を策定
- ・運営方針や計画を公民館運営協議会理事に示し議論し、総会にて決定
- ・公民館運営協議会理事や評議員、公民館利用団体へのアンケート調査を実施、来館者への聞き取り
- ・公民館運営協議会や地域の各会議にて有識者の意見を聴取

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

少子高齢化が加速度的に進む油谷地区において、高齢者から児童まで幅広い年齢層の交流と安心して暮らしていけるまちづくりを目指すために、公民館が地域と学校をつなぎ、よりよい活動ができるような関係を作っていくことが重要である。



公民館・学校・社協による会議

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

広報活動について、SNSを利用した方法についても検討していきたい。

・地域住民のニーズを反映した活動やイベントを多く実施していきたい。ボランティアスタッフとして多くの地域住民が参加できるような仕組みづくりを考える必要がある。また、各委員会等に若い人の考えが反映できるように、委員として参加できるようなことも考える必要がある（子育て世代や中高生など）。



ふれあいスポーツフェスティバル

住民協働は公民館活動から！

周防大島町久賀公民館(山口県)



久賀公民館

公民館の沿革・年表

昭和36年、久賀公民館が建設される。公民館活動が活発化するに伴い、新たな施設の建設機運が高まり、昭和53年5月1日、現所在地に久賀町民センター（久賀公民館と久賀図書館を併設）が開館した。

その後は、昭和60年度前後に国が推進した、生涯学習の活動拠点施設として、“生きがいとふれあいを深める生涯学習”をテーマに各ライフステージにおける生涯学習活動の推進に取り組んできた。

現在は、周防大島町にある4つの中核的な公民館の一つとして、地域住民の学習活動の拠点となっている。

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

「ふれあいコンサートinくか」

平成元年11月に第1回目を開催。当時、全国的に生涯学習活動が推進されており、久賀公民館では、音楽発表会の開催に取り組んだ。幼稚園、保育園、小学校2校、中学校、高校、及び公民館で音楽活動をしている自主学習グループが参加して、3世代交流音楽祭として盛大に開催された。今年で36回目を迎える（新型コロナウイルス感染症対策で中止した年回数にも含める）。



ふれあいコンサートinくか

公民館情報		1. 公民館対象人口	2443人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和53年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3531人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 7047人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 950人 合計 11,796人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 268人 (周防大島町が取り組んでいる民泊での体験プログラム等の実施)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (隣接する体育館施設の運営、伝承芸能活動の継承)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (文教地区に立地し、様々なライフステージの方に“場”の提供をしている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 久賀保育園、久美保育所、久賀小学校、周防大島中学校、周防大島高等学校、久賀図書館				

周防大島町久賀公民館

OPEN 8:30~22:00

H P

TEL 0820-72-2271

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

久賀公民館は、周防大島町にある7館の公民館の一つで図書館と併設されており、暫定的再任用職員1名と会計年度任用職員1名が配置されている小規模の公民館である。地区内には、小・中学校が各1校(中学校は3校の統合校)ある。御多分の漏れず人口減少や超少子高齢化、核家族化が進んでおり、公民館利用者は、高齢者の利用比率が非常に高い。高齢者層の活動を維持しながら、若年層の利用比率を高めていく必要がある。

2. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

①子ども会の活動

久賀地区子ども会育成連絡協議会の事務局は、久賀公民館にある。令和元年に久賀小学校PTAと協議して、令和2年度より前年度のPTA会長が地区子連会長に就任する流れを作った。その後は、学校を通して今まで以上スムーズに子ども会加入手続きや各種イベントへのPRをすることができた。地区子連とPTAの活動は相通じる部分があり、お互いWIN、WINの関係が成立。今まで以上に、様々なイベントを子ども達に提供する出来るようになった。

②自主学習グループによる活動

公民館の自主学習グループの代表者(世話人)によって構成する「公民館学級・講座世話人集会」を開催している。その組織の協力により、毎年、5月に「学級・講座生のつどい」や11月に「ふれあいコンサートinくか」を開催している。「ふれあいコンサートinくか」を開催する前後2週間に「文化作品展」を開催している。これには、地元保育園、小・中学校、島内にある高校、公民館を利用している一般団体にも広く参加を呼びかけており、1週間4グループに分けた展示を実施している。

③生涯学習講座の充実

人生100年時代、それぞれのライフステージにおける“学び”は大切である。生涯学習講座は、健康、交通安全、人権、物づくり等様々な内容を年7回程度開催している。車を持たない遠方の高齢者の参加対策として、送迎車を出すようにしている。まだ多くの利用はないが、利用者には喜ばれている。



夏休み子ども教室(カヌー体験)



文化作品展

3. 取組による成果や効果

①子ども会活動を通して、小・中学校との距離が近くなり、学校と連携した取り組みができるようになった。

②新型コロナウイルス禍により、「ふれあいコンサートinくか」「学級・講座生のつどい」を開催することができない年があったが、発表の場がないと日頃の活動に気合が入らないとの意見が多く出て、自分たちがイベントを開催しているんだという機運が更に高まった。

③参加したくても公共交通では参加が困難なため、車を持たない遠方の高齢者参加方法として、送迎車を出し交通に便宜を図っている。



悠遊教室

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

①総会や役員会の開催時に、当該年度事業の反省点や次年度への要望などを確認している。

②当該年度のイベントを開催するにあたり、「公民館学級・講座世話人集会」を開き、改善点や運営方法などについて意見交換をしている。

③中心館4館との生涯学習講座の内容について情報交換を行ったり、参加者から要求課題を確認するようにしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 「自助・共助・公助」の基礎的関係性を築く拠点として、多種多様な活動の支援を図ること。
- 来館者にあいさつを心掛け、各種相談には、内容の解決に向けた対応に心掛けること。
- 「笑顔の絶えない公民館」の運営を目指すこと。
- 小さな花壇に数年前から藤袴を育て、飛来するアサギマダラを来館者に見てもらうこと。



アサギマダラ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

超少子高齢化が進捗し地域力が減退している今、様々な地域力を次代に引き継いでいくため、その中核的な存在が公民館だと考えている。その役割を果たすべく、これまで以上に地域に潜在する力を様々な方向から見出し、集積し、活用することを伸展させていきたい。今、これをしてしないと取り返しがつかなくなる…。



どんど焼き

0歳から100歳までが集うセンター

山陽小野田市本山地域交流センター(山口県)



本山おもちゃ図書館



スタディールームとキッチン本山

公民館の沿革・年表

- ・昭和60年 本山公民館開設
- ・平成9年 本山コミュニティ体育館開館
- ・平成11年 本山高齢者福祉会館開設
- ・平成21年 地域委託型公民館運営
- ・平成27年 市教育委員会直営方式公民館運営
- ・令和4年 本山地域交流センターとして業務開始
- ・令和5年 Wi-Fi設備設置

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 本山おもちゃ図書館は、日本おもちゃ図書館財団の助成を受け令和5年10月に開館。子育て支援ボランティア8名が、子どもが喜ぶ安全安心なお菓子作りや、子育てに役立つ子ども用品の紹介、紙芝居など多彩な子育て講座や見守りで活躍している。最年少来館者は0歳児で、開館から5か月で来館者数100組を達成。
- 学校が長期休暇中の子どもたちの居場所としてスタディールームを開館。大学生の学習支援協力を得ながら、地域のボランティア団体が昼ご飯を提供し、大勢の子どもたちに喜ばれている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2821人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和60年10月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (協創部市民活動推進課)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1194人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 17429人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 18,623人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (本山公民館運営協議会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (センターだより「わくわく ドキドキ もとやま」の発行)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (焼野保育園 本山小学校 竜王中学校 山口東京理科大学 本山地区自治会協議会 本山ふるさとづくり協議会 本山地区社会福祉協議会)				

山陽小野田市本山地域交流センター

OPEN 9:00 ~ 22:00

H P <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/motovamakouminkan/>

TEL 0836-88-2001

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 以前は高齢者による利用がほとんどで、若い世代が地域交流センターを利用する姿は全く見られなかった。しかし、公民館から地域交流センターになり、社会教育の充実に加えて、地域づくりを推進する位置づけになったことから、多様な世代がセンターを利用できる場、世代間交流ができる場を設けることで、持続可能で明るい地域社会の構築につなげたい。
- コロナ禍が明けて地域行事が再開したが、この間に高齢化による担い手不足も進んでおり、今の時代に合った新しい地域行事のあり方を考えていく必要がある。

2. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

【**本山おもちゃ図書館**】おもちゃ図書館は、地域の方からの「センターで子育て支援をやってみよう」という自発的な声から生まれた。どうしたら今まで利用のなかった子育て世代の若い親に集まってもらえるかを一緒に考え、幼児が楽しめる場を作れば来てくれるのではないかとこの発想から開館が決まった。こうやって、地域のボランティアが活躍する場を作ること、力強く地域を支える人材の育成につながっている。

【**eスポーツ体験**】山口東京理科大学学生の支援を受けて、eスポーツ体験教室を実施している。大人と子どもがペアを作り、助け合いながら他のチームと対戦することで小中学生、大学生、高齢者の世代間交流が見られた。また、Wi-Fiを使って遠く離れた地域との対戦交流を行うなど、多くのつながりが生まれている。さらに、eスポーツ体験には不登校で学校に行っていない中学生が参加するなど、子どもたちの意欲を引き出す大きな可能性が感じられる。

【**地域行事**】様々な地域行事を再開させているが、コロナ以前の姿にそのまま戻すのではなく、小中学生や大学生が企画・運営を行う形で復活させている。ふれあい盆踊り大会では、中学生の受付、司会進行や、小学生によるバザーの出店、運営など子どもたちが参画する形のものでできている。また、地域のフェスティバルでも大学生の射的の出店や科学実験コーナーの開設など、多世代が連携しながら地域行事を盛り上げる形ができている。



eスポーツで世代間交流



地域行事:ふれあい盆踊り大会

3. 取組による成果や効果

- おもちゃ図書館では、子育て講座を行う月に1度の開館日以外でも、自由にやってきて遊べるため、平日の昼間に子育て中の親が顔を出してくれるようになり、こういう表示や設備があると利用しやすいなど、若い世代からセンターへの意見が寄せられることでセンターの運営が改善されている。
- スタディールーム・キッチン本山・eスポーツ・地域行事など、世代間交流の場を多く設けたことで、子どもたちは地域の方に支えてもらっているという感謝の気持ちや地域への愛着心が生まれている。また、大学生はコミュニケーション能力の向上に、高齢者にとっては生きがいづくりにつながっている。また、センター主催のマグダーツ大会なども中学生の運営に任せることができ、自分たちが主役になって活気ある地域を作ると意識が醸成されている。



マグダーツ大会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- センター利用に関するアンケートを実施し、地域住民がどのような講座や取り組みを希望しているかニーズを把握し、主催講座の運営や行事に生かしている。スタディールームも利用した児童生徒にアンケート調査を行い、改善につなげている。
- 理科大学が参加した講座(eスポーツ体験、科学実験教室)などは、終了後に大学生とともに振り返りを行い、次回のより良い講座づくりに反映させている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 急速な人口減少、少子化・高齢化が進む中、世代を超えたつながり、ふれあいを大切にしている。赤白帽子のゴムひもが伸びている子が多いという話を聞き、センターの手芸クラブの方々にお願いして「本山ばあちゃんお直し隊」として小学校の教室に出かけて補修を行ってもらうなど、地域住民と子どもたちの交流の場を作り出すよう心がけている。



本山ばあちゃんお直し隊

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 今後も多くの世代が集い、交流する楽しい地域交流センターの運営を進めていきたい。
- 主催講座として1月に行った「新春 初笑い 落語会」を地元の小学校にライブ配信した。センターに来ることができない児童は学校の教室で落語を楽しみ、大変好評であった。設置されたWi-Fi設備を活用し、センターでの学びを地域全体に広げていきたい。



初笑い 落語会

自然に囲まれた地域とともに歩む公民館

鳴門市北灘公民館(徳島県)



ドイツ人俘虜が通った道を歩くワンデリング大会



北灘まつり(芸能祭)で演奏を披露する瀬戸中学校の音楽部

公民館の沿革・年表

昭55・7 北灘公民館竣工創立

(鉄筋コンクリート2階建)

昭56・11 第1回北灘公民館祭を開催

平16.10 公民館運営業務の一部を北灘地区自治振興会に委託

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

①ワンデリング大会の様様

第一次世界大戦当時、板東俘虜収容所のドイツ人俘虜が遠足や海水浴で通った道をみんなで歩き、歴史や北灘町の自然を感じようと、地域間交流振興策の一環として平成30年より開催されている。

②北灘まつりの模様

公民館で活動するサークル等が一齊に集まり、日頃の成果を発表する。舞踊や歌、中学生による演奏会など、さまざまな芸能活動の成果を発表し、公民館利用者間の交流に繋げている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1584人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和55年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	なし
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 336人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4,505人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,322人 合計 6,163人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (海と山に囲まれ自然が豊かな公民館。いきいきサロンでつながりづくり。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (明神中学校、日本赤十字社、北灘地区自治振興会・老人会・婦人会・社会福祉協議会、鳴門市 など)				

鳴門市北灘公民館

OPEN 9:00~17:00

HP

TEL 088-682-0442

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

当地区は、鳴門市北部の海岸沿いに位置しており、海と山に囲まれ、とても自然が豊かな環境にある。漁業はさかんではあるが、少子高齢化により人口が減少し、地区内の幼稚園及び小・中学校が休・閉校するなど、高齢化と核家族化が進んでいる。このような中、地区住民の繋がりが希薄化しないように公民館と自治振興会が中心となり、地区住民と連携協力しながら生活の質の向上に取り組んでいる。住民の誰一人として社会的に孤立しないような体制づくりを推進し、繋がりがづくりや支え合いを深める活動を行っている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ワンデリング大会】

第一次世界大戦時に鳴門市にあった板東俘虜収容所では、松江豊寿所長をはじめとする職員の捕虜に対する人道的な処遇のもと、地元民との国境を越えた心温まる交流が行われていた。平成30年からドイツ人俘虜が遠足や海水浴で通った道をみんなで歩き、当時の歴史や北灘町の自然を感じようとする地域間交流振興策として「ワンデリング大会」が開催されている。令和5年度は10月29日に実施され、自然に囲まれた北灘町を持続可能な地域につなげるため、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」をテーマにした幟等を準備し、環境美化の啓発活動も行いながら開催された。

【北灘まつり】

北灘まつりは、公民館で活動するサークル等が一齊に集まり、日頃の成果を発表する「芸能祭」と、地域内外から人々を集客して北灘を盛り上げる「おまつり広場」が行われており、新型コロナウイルスの影響で中止となっていたが、令和5年9月16日に「芸能祭」を開催した（「おまつり広場」は中止）。子ども達によるにぎわいを地域にとり戻すために、瀬戸中学校音楽部の生徒に参加してもらい、演奏や楽器を通じた交流を図るとともに、サークルや団体等による舞踊や歌も披露され、活性化につながるイベントが実施できた。



歴史を感じながら当時の道を歩く

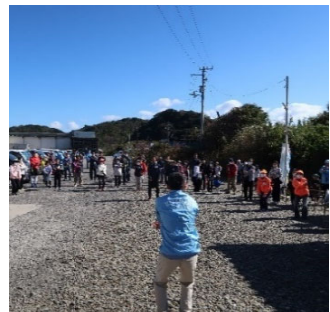


中止前の「おまつり広場」の様子

3. 取組による成果や効果

ワンデリング大会は、天候にも恵まれ95人の参加があった。これは、この大会が地域住民に定着したこと、参加者による口コミ等による認知の広がり、他地区へのチラシ配布等による広報等の成果と言える。北灘町における歴史や自然を感じるとともに、SDGsへの理解や認識も深まった。また、地域の活性化と地域間交流の中心となる恒例イベントとして、その役割を大いに推進させた。

北灘まつりにおいては、コロナ禍による長期中止によって、各活動の担い手不足や高齢化が顕著となり、「おまつり広場」を開催することはできなかったが、「芸能祭」は実施できた。100人強が参加し、過疎化が進む地域において、人と人との繋がりを強められたほか、地区外から瀬戸中学校の生徒たちが参加してくれたことにより、子どもたちとの交流が少なくなっている北灘地域のにぎわいづくりに大きな効果をもたらしてくれた。



地域内外から多くの方が参加し交流を図る

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

自治振興会、老人会、婦人会、社会福祉協議会等の関係団体や鳴門市内の小・中学校、企業等と連携を重ねる中で、地域のニーズを確認しながら、多くの地域住民が参加できるような取組を行っている。また、イベントの参加者や地域住民、ボランティア等の関係者の意見や感想を参考にしながら今後の運営方法を検討し、地域のニーズに即したイベントとなるよう努めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

多様化する住民のニーズに応える生涯学習の拠点であるとともに、地域のさまざまな課題を住民と一緒に考えて、積極的に協力する公民館でありたいと願っている。



洋裁教室でわきあいあい

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

今後も地域間交流や地域活性化、地域づくりの中心となり、「全ての方が気軽に立ち寄ってくれる公民館」を目指すため、参加しやすく開かれた公民館となれるよう努めたい。



各機関と連携し運営していく

住みやすい町みんなの大町

西条市大町公民館(愛媛県)



大町とうどまつり



梅林園の環境整備

公民館の沿革・年表

- ・昭和47年 大町公民館開設
- ・平成22年 大町公民館新築移転
- ・令和元年 大町地域づくり協議会設立
- ・令和3年 愛媛県公民館連合会会長表彰受賞(優良公民館)
- ・令和4年 愛媛県教育委員会教育長・愛媛県公民館連合会会長連名表彰受賞(優良公民館)

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●大町とうどまつり

無病息災と家内安全を祈願し、竹やわらで組み立てた「とうど」に、各家庭のしめ飾りを集めて一斉に燃やす、西条市に残る正月伝統行事である。まつり後の消火は、放水訓練を兼ねて西条市消防団大町分団と大町少年消防クラブが実施した。

●梅林園の環境整備

西条市市民の森の梅林園を大町校区の住民の憩いの場とするため、植樹の協力、のぼりと提灯の設置等、梅林園の環境整備を行っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	10,385人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和47年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	5台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,046 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 27,710 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 10,137人 <input type="checkbox"/> その他 0人 () 合計 38,893人				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大町公民館協力委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (毎朝継続して実施しているラジオ体操は、住民の健康増進につながっている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (大町地域づくり協議会、学校法人大町幼稚園、社会福祉法人大町保育園、大町小学校、西条南中学校、西条農業高校、大町連合自治会、大町福寿会、株式会社レクザム、大町青少年健全育成協議会)				

西条市大町公民館

OPEN 9:00~17:00

TEL 0897-56-3835

HP <https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoiku/omati-index.html>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 公民館事業として、高齢者学級、女性学級、さわやか学級、子どもふれあい学級を実施しているが、参加者の高齢者割合が高い。また、子どもを対象とした事業では、参加者が思うように増えず伸び悩んでいる。
- 西条市市民の森の梅林園には約700本の梅の木があるが、高齢化や獣害で弱っている木が多い。平成29年までは、市が主催する梅まつりが開催されていたが、交通渋滞による近隣住民への影響等の理由で中止となった。賑わいを失いつつあったため、大町地域づくり協議会を中心に、かつての賑わいを取り戻そうとする機運が高まった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【大町地域づくり協議会（地域づくり）】

● 大町地域づくり協議会は、自治会員から意見の多かった「行事の多さ」、「役の多さ」、「会議に参加することへの負担」、「複雑化した連合組織」等の課題に対応するため、**大町連合自治会をスリム化（役職の見直し・廃止等）し、地域で活動する団体が横につながり、チーム大町が一丸となって地域を運営していく仕組み**として、21の団体に参加を呼び掛け、令和元年に設立された。大町公民館には、地域づくり支援員として職員1名を配置し、大町地域づくり協議会の活動支援等を行っている。

【大町とうどまつり（伝統文化継承活動）】

● 大町連合自治会員が減少し、行事への負担が増加したため、大町連合自治会の主催行事であった大町とうどまつりを、大町地域づくり協議会が引き継いで開催することとした。また、大町婦人会や大町小学校PTAの協力でぜんざいがふるまわれ、子どもから年配の方まで大いに喜ばれた。**まつり後の消火は、放水訓練を兼ねて西条市消防団大町分団と大町少年消防クラブが実施した。**

【梅林園の環境整備（環境保全）】

● 平成29年まで実施されていた梅まつりが終了し、荒廃化が進む西条市市民の森の梅林園について、かつての賑わいを取り戻すため、植樹の協力、のぼりと提灯の設置等、梅林園の環境整備に努めている。



大町とうどまつり



梅林園の環境整備

3. 取組による成果や効果

- 公民館と大町地域づくり協議会の連携により、公民館と地域住民とのつながりが増え、**来館者が増加**した。
- 子どもから年配の方までの交流の場となり、**地域住民の新たなつながりが生まれた。**



大町とうどまつり後の放水訓練

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 各事業の点検・評価については、公民館協力委員会で総括し、改善につなげている。
- 市内他公民館と事業計画を共有し、活動の参考としている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館・地域住民・学校等の連携を強め、いざという時に互いが助け合うことのできる関係性、ネットワークの構築のために、積極的に学校行事等にも参加して関わりを深めていくことを心掛けている。また、毎朝のラジオ体操は、高齢者等の健康増進のためにも継続していきたい。



ラジオ体操

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

全世代交流の場として、参加者の世代に偏りがいない事業を計画していきたい。



三世代交流

島の文化を伝える公民館活動

松山市泊公民館(愛媛県)



船踊り 勢揃い

公民館の沿革・年表

- ・昭和29年 泊公民館設置
- ・昭和44年 泊公民館新築落成
- ・昭和50年 泊南分館・御手洗分館落成
- ・昭和63年 船越分館落成
- ・平成8年 泊出張所と併設
- ・平成17年 船越分館の建替え
- ・平成19年 泊南分館の建替え
- ・令和7年 泊公民館エレベーター設置工事

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●「興居島(ごごしま)の船踊り」の様
興居島泊地区では、毎年10月の第1土曜日に、歌舞伎や新作の舞踊などを演じる「船踊り」が行われており、**愛媛県無形民俗文化財に指定**されている。(写真: 体育館にて演目の披露)これらの伝統文化の継承には地域が一体となって取り組んでおり、そのほかにも様々な行事を行っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	374人		3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)	
		2. 建物設置年月日	昭和29年9月1日		4. 来館者のインターネット接続最大端末数	250台	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()						
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 321人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3000人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 300人 合計 3,621人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()						
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人						
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()						
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()						
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (松山市役所興居島支所泊出張所) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()						
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (松山市立もものはなこども園(保育園)、興居島小学校、興居島中学校、松山市農協興居島支所、興居島船踊保存会、町内会、婦人会、高齢者クラブ、由良公民館)						

松山市泊公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 089-961-2933

HP <https://www.matsuyama-people.jp/region/tomari/>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 泊公民館のある松山市興居島は離島振興法の指定地域であり、その人口は平成22年国調では1,279人と1千人を超えていたが、令和2年国調では913人と急激な人口減少となっており、65歳以上の高齢者の割合は63.3%となっている。
- 現在、興居島泊地区は、若者の島外への流出により超高齢化社会となっていることから、**各事業は町内会や高齢者クラブなどの各種団体との連携を図りながら行っている。**

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【泊町内大ウォーキング大会（取組全体）】

- 島内の高齢化が進むとともに行事が減少し、住民たちの交流の場が少なくなっている状況に対し、住民たちから「なにかできないか」と声上がり、令和4年度から実施。住民たちの要望に答えた事業であるため、自発的に多くの住民が参加している。
- 泊町内各所を距離に応じて4コースに分けてウォーキングすることで、**幅広い年代に参加可能な事業となっており、世代間の交流につながっている。**



泊町内大ウォーキング大会

【伝統文化伝承活動（船踊り）（取組全体）】

- 興居島の船踊りは、伊予水軍をモチーフとしており、昭和24年に興居島船踊保存会が結成され、昭和39年には愛媛県無形民俗文化財に指定された。現在は神社の氏神様に奉納される伝統的な踊りである。
- 島の人口、若者が減りゆく中、地域全体が一丸となって、興居島独自の伝統芸能の存続のため、夏ごろから練習し、10月の船踊り披露に向け、三世代が一緒になって、伝承活動を行っている。
- 興居島独自の文化継承であり、泊地区、由良地区で踊る演目も違うため、それぞれの地域の保存会において、**現在に至るまで公民館での伝承活動を通じて存続してきている。**



船踊り

3. 取組による成果や効果

- 島しょ部のため人口は少ないが、公民館事業への参加者や協力者の割合は高く、地域住民により主体的に事業が行われており、**公民館事業を通じて地域の連帯感の醸成や住民へ交流の場を提供**することにつながっている。
- 船踊りの伝承活動は、興居島小・中学校の授業でも取り上げられており、地域と学校の協働にも寄与している。また、伝承活動を通じて、船踊りが地域独自の伝統芸能であり、先人から受け継ぎ次世代へも引き継いでいくべきものであることを認知・理解することで、**地域への愛着と誇りを生むことにつながっている。**



地区大運動会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

今後はさらなる高齢化社会を見据え、子ども、親、高齢者などが繋がり、協力できる事業を行うことが重要であり、加えて、島外に向けて興居島の魅力を発信することも必要であると考えている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

泊地区の良さは豊かな自然と人の温かさだと感じており、豊かな自然が人を育み、人が人に温もりを与えることができる地域であり続けたいと思っている。



島四国八十八か所

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

現在行っている体験学習などにより、興居島を訪れた子どもが再び島を訪れ、さらにはその中の一人でも、興居島に住みたいという人が現れることを目標に、今後もし組みで行きたいと考えている。



地引網体験

公民館発祥の地として「村の茶の間」でありたい。

西予市田之筋地域づくり活動センター(愛媛県)



公民館の沿革・年表

- ・昭和22年 公民館の前身となる「健民館」を建設
県内初の公民館となる。
- ・昭和51年 田之筋公民館改築
- ・平成16年 西予市に合併
- ・平成19年 公民館発祥の地記念碑建立
- ・令和2年 田之筋公民館改修(耐震化)
- ・令和3年 愛媛県公連会長表彰
- ・令和4年 愛媛県教育長、県公連会長連名表彰
- ・令和5年 公民館から地域づくり活動センターへ移行

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

令和3年度より地域が職員を雇用し、地域活動と社会教育とのコラボレーションを通じて、地域の活性化に向けて以下の事業を実施している。

- 地産地消事業…地元の野菜「たのベジ」を活用し、地域の活性化を図るとともに、その販売による収益化を目指している。
- にぎわい事業の創出…定期的に「マルシェ」を開催し、地域の賑わいを創出している。地域内で経済が循環するよう、地区民が出店者として関わる仕組みを導入し、多様な人が参加しやすい環境を整備している。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1527人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和51年3月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市長部局)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 342人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2000人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 599人 <input type="checkbox"/> その他 0人 () 合計 2,941人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 3人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (西予市地域づくり活動センター運営委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (設立時から、多くの住民が集う地域のよりどころとなっている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (田之筋小学校、田之筋保育園、宇和中学校、宇和高校、田之筋地区地域づくり協議会、愛媛大学社会共創学部、田之筋社会福祉協議会、田之筋老人クラブ、田之筋婦人会、田之筋放課後子ども教室実行委員会、田之筋緑の少年団、西予市、西予市教育委員会)				

田之筋地域づくり活動センター(館内に田之筋地区地域づくり協議会事務所設置)

OPEN 8:30~22:00

H P

TEL 0894-62-0033

SNS

Facebook、LINE(地域づくり協議会と協働)





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 当地区は、市街地へのアクセスや買い物の利便性が一定程度確保されているものの、人口減少に対する危機感が薄く、いかに地域活性化への取組に住民を誘い込んでいくかが課題であった。また、既存のイベントの活性化が進まず、地域全体に賑わいが欠けているという現状があった。
- 当地区には学童保育等がなく、放課後や長期休業期間中に子どもが安心して過ごせる場所が不足していた。また、元気なシニア世代の活躍の場所が少ないという現状があり、地域全体で子ども支援に対する関心を高める必要があった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【地域の賑わい創出と交流人口の増加、そして地域で稼ぐプロジェクト（地域活性化）】

●当地区では、令和3年度より地域が職員を雇用し、地域づくり活動のさらなる活発化を目指してきた。この取組では、**地域活動と社会教育とのコラボレーション**を通じて、相乗効果を生むことが期待されており、前述の背景や地域課題を踏まえ、**地域の活性化に向けて地産地消事業**（地元の農産物を地域内で消費し、地域経済を活性化）、**定期的な「たのすじマルシェ」の開催**（地域の賑わいを創出と関係人口の増加）、**藁アートを活用した地域観光資源の創出**（伝統を活かした観光資源の創出と地域の魅力アップ）を行っている。



地産地消事業とたのすじマルシェ

【ないなら創ろう、放課後、長期休みの子どもの居場所（子どもの居場所づくり）】

●子どもたちが安全で安心できる居場所を提供するとともに、地域全体での子ども支援の関心と参加を高め、より良い支援体制を整えることを目的に、シニア世代(60～70代)が中心となって、給食のある平日毎日、学校終了から午後6時まで、**小学校の空き教室を利用した「田之筋放課後子ども教室」の開設**と、新たな保護者のニーズにより、長期休業中の平日、午前7時30分から午後6時まで、**子どもの居場所を提供する「田之筋休日子ども教室」を新たに展開**している。これらの取組により、子どもたちが安全に安心して過ごせる居場所の提供とシニア世代の活躍の裾野を広げている。



放課後子ども教室の様子

3. 取組による成果や効果

【地域の賑わい創出と交流人口の増加、そして地域で稼ぐプロジェクト】

●地産地消事業と定期的なマルシェの開催により、地域内での経済循環が促進され、多様な人々が関わりやすい環境が整えられた。稲作で不要になる藁を活用した**藁アートは、地域の観光スポットとして、メディアからも注目を集め、関係人口の増加に寄与した。**

【ないなら創ろう、放課後、長期休みの子どもの居場所】

●「田之筋放課後子ども教室」および「田之筋休日子ども教室」の実施により、子どもたちが放課後や長期休業期間中に安全に安心して過ごせる場所が確保された。また、**指導員と子どもたちとの交流を通じて、世代間の絆が深まった。**

●子ども支援を通じて、地域の魅力が向上し、特に子育て世帯の転入が増加している。



わらから生み出す
田之筋パワー
わらアート。SNSなどで大人気。

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 各事業の計画・実行・検証を行うために、運営委員会を設置し、細部にわたって協議・検討を行う。
- 客観的な評価を得るために、SNS等を活用して関係者へのアンケートや参加者からの感想を求め、満足度調査、改善点の意見収集、今後の期待などの情報を収集するとともに、定期的なミーティングやワークショップを開催し、各地区との情報共有や意見交換を通じて、他の事業の良い点を取り入れ、見直しの際の参考にする。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献することをコアコンピタンスとし、地域住民との協働、持続可能な地域づくり、世代間交流の促進、学びと成長の場の提供を重視している。また、多世代の多様な人材を誘い込み、次世代を育成する「子どもが真ん中の地域づくり」に取り組んでいる。



公民館発祥の地記念碑建立

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

地域住民にとって最も身近な学習拠点というだけでなく、家庭とも職場とも違う交流の場（サードプレイス:村の茶の間）としての役割を担っていく。地域住民との協働、持続可能な地域づくり、世代間交流の促進、学びと成長の場の提供を大切に、**多世代の多様な人材を誘い込み、次世代を育成する「子どもが真ん中の地域づくり」を推進する。**



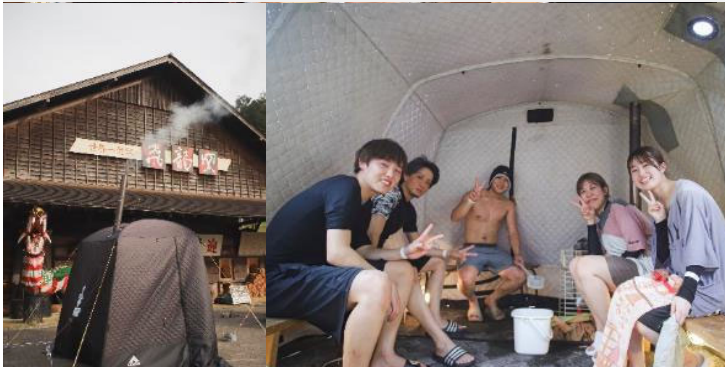
平成19年11月28日 除幕式

若い世代をまちづくりに巻き込むには？

武雄市武内公民館(佐賀県)



飛龍窯で楽しむアウトドアイベント「武火つむぎ」



テントサウナ体験など楽しめる「夜桜サウナ」

公民館の沿革・年表

昭和49年3月

武内公民館開設

平成18年3月

旧武雄市、山内町、北方町が合併、武雄市になる

平成26年3月

武内公民館新築移転、現在に至る

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

武内公民館では、まちづくり協議会「武内町住みよいまちをつくる会」と連携して、若い世代がまちづくり事業に参加してくれるような取り組みに力を入れている。

●武火つむぎ(R5はR5.9.30~10.1に開催)

飛龍窯で楽しむアウトドアイベントとして、はにわづくり体験など体験型コーナーを多数用意し、多くの親子連れで賑わった。

●夜桜サウナ(R5はR6.3.30に開催)

桜の時期に飛龍窯で開催したサウナイベントである。テントサウナ体験やヨガ体験などもあり、キッチンカーも出店した。子どもから年配の方まで幅広い年代の方に来場いただいた。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2121人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成26年3月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	256台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 599人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5246人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 261人 合計 6,940人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 834人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (公民館裏に多目的広場があり、グラウンドゴルフなどの会場として利用)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (武内保育園、武内小学校、武雄北中学校、有田工業高等学校、武内町住みよいまちをつくる会、武内町区長会、武内町スポーツ協会、武内町防犯協会、交通安全協会武内支部、武内町自治公民館長会、武内町子どもクラブ育成会、学校づくり地域協議会、ボランティアわかば会長)				

武雄市武内公民館

OPEN 8:30~17:15(22:00)

H P (ブログ) <https://takeuchikouminkan.sagafan.jp/>

TEL 0954-27-2001

SNS (FB) <https://www.facebook.com/takeuchikouminkan>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

武内町は市内でも周辺部に位置し、人口減少や空き家問題、イノシシ被害の拡大や竹林問題など、まちの課題が様々山積している。まちづくり活動の会議では、役職をもった年配の方が多く、同じ顔ぶれである等、**若い世代の参加が少ない事が課題**であった。どうにかして、若い世代に参加してもらう事で、武内町の将来について考えてもらうと同時に、新たな関係性や絆が生まれ、町外への流出も少なくなるのではないかと考えた。さらに、若い世代が盛り上がりればまちが活気づき、新たな若い世代の獲得や交流人口の増につながると考える。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【若い世代に公民館に来てもらう（学びのきっかけづくり→若者のまちづくり参画）】

若い世代に公民館に足を運んでもらうことを目的とし、公民館講座の内容を「ヨガ教室」や「お菓子づくり教室」などと工夫し開催した。周知については、小学校の保護者へチラシを配布する、SNSで情報発信するなど、若い世代に届くよう工夫した。

【若い世代が参加するイベント（地域課題解決、若者のまちづくり参画）】

まちづくり協議会（公民館が事務局）のイベント部会が主催となって「武火つむぎ」を開催している。このイベントは、令和2年度に、県立生涯学習センターの課題解決支援講座を利用し、町民約50人が参加するワークショップを開催したことがきっかけである。まちの課題を解決する祭りをつくる事となり、「アウトドア×飛龍窯」をテーマに検討を進めた。観光地である飛龍窯があまり活用されていないという課題に対し、自然豊かな武内町の良さをかけ合わせたイベントを目指すことになり、「武火つむぎ」を開催することとなった。年々参加者が増え、令和5年度は、約550人が来場した。市外からも多く来場いただいた。

【若い世代限定のワークショップ（地域課題解決、若者のまちづくり参画）】

令和5年8月に、町内の40歳代以下を対象に「気楽にまちづくり」と題し、まちづくりワークショップを開催し、まちの魅力や課題、やりたい事について意見交換した。その中では、「人が集まる場所」が足りないとの意見が出た。人が集まる場所を探す中、たどり着いたのは「飛龍窯」だった。最終的に、飛龍窯を会場として「夜桜サウナ」を開催した。



ヨガ講座参加者で記念撮影



気楽にまちづくり 初期メンバー

3. 取組による成果や効果

○**公民館に来てもらうことで**…「初めて公民館に来た」という人も多く、顔見知りになることが第一歩だと考える。講座を通して、声をかけやすくなるなど、公民館とのつながりができた。また、参加者の公民館事業への興味・関心を醸成することができた。

○**イベントに参加してもらうことで**…「武火つむぎ」のイベントでは、ワークショップに参加していた若い世代が「最後まで関わりたい」とのことで、イベント部会員となった。さらに、イベントに参加した地元の人に声をかける事で、運営側（部会員）として協力してくれる人を増やしている。

○**ワークショップをすることで**…こちらから意見交換の場をつくる事で、人材確保につながった。また、ワークショップ形式という事で、参加者の意見が出しやすい環境ができた。



夜桜サウナのスタッフ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

公民館講座の内容・効果については、公民館運営審議会で参加者数を基準に意見を聞き、見直しをしている。

イベント運営については、イベント実施後に会議の場を設け、良かった点や反省点を共有し、改善を図っている。

その際、**持続していくためにも、スタッフの負担度合（休憩ができなかった等）も確認**するようにしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域のまちづくり活動において、**公民館は本来「裏方」となるのが理想**だと考える。

イベント運営では特に、「公民館（事務局）が決めたので協力してください」ではなく、自分たちで考え、企画し、運営するという方向に持っていきたいと努力している。さらに、**会議では毎回ワークショップ形式**で会場を用意し、個人で考える時間、グループで話し合う時間を設けて、一人ひとりの発言を促すよう心がけている。



イベント部会会議の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

引き続き、誰もが気軽に訪れる事ができる公民館を目指し、幅広い世代の人に公民館に足を運んでもらいたい。さらに、その中で、日常的に武内町の将来や課題について話が盛り上がり、**住民の自主的なまちづくりへの参画を公民館が応援・支援できるような仕組みづくりを進めていきたい**。若い世代が盛り上がり、楽しんでいる姿が公民館と共にあることを想像している。



イベント部会のメンバー

人材を活かした講座の実施とICTの活用

長崎市滑石公民館(長崎県)

公民館の沿革・年表

- ・昭和54年 長崎市滑石公民館として開館
- ・昭和57年 陶芸窯を設置
- ・平成22年 道路拡幅工事に伴い隣地に新築移転
- ・平成30年 一般利用者(講堂前ホール) Free-Wi-Fi 整備
- ・令和 3年 研修室用Wi-Fi高速化(20M→1G) 整備
タブレット端末30台配備
- ・令和 5年 研修室用Free-Wi-Fi整備

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 市内北部の住宅地に位置し、交通の利便性も高い。
- 平成22年の新築の際、建物全体のバリアフリー化が図られ、各部屋・トイレなど、車いすの方も利用しやすいように、フラットな構造になっている。オストメイト付きバリアフリートイレの設置や赤ちゃんおむつ換え用簡易ベッドなどを備えている。
- 長崎市内の公民館では唯一本格的陶芸窯を備える。
- 毎年、春・秋の公民館講座はじめ、夏休み子ども講座でやきもの講座を開催している。



公民館情報		1. 公民館対象人口	29036人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成22年7月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3,494人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 20,965人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 33,736人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 9,277人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 6人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (児童館(所管課は別部局)) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

長崎市滑石公民館

OPEN 9:00~17:00

H P <https://www.city.nagasaki.lg.jp/page/2091.html>

TEL 095-856-3751

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 当市では唯一本格的、陶芸窯を備えた公民館であり、自主学習グループの活動が盛んに行われ日々やきものづくりに励んでいる。
- 粘土をこねたり、形成したり「手作業」を行う講座を子どもや高齢者など受講生に体験してもらいたい。
- 新型コロナウイルス感染症の流行により、社会においてキャッシュレス化・電子申請、リモート会議などが急速に進展した。
- 身近な生活においてICTを活用した新しい社会のあり方であるSociety5.0（サイバー空間とフィジカル空間の融合）への移行が急速に進展、行政情報の発信や手続きも電子化が進んでいる。
- ICTになじみの薄い高齢者層が、これらの変化に取り残されないようにする必要が生じている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

●設備と人材の活用

本格的陶芸窯を2基備えた市内唯一の大型公民館である。
陶芸を学ぶ6つの自主学習グループが日々作陶に励んでいる。
陶芸の技能を持った人材が身近に存在している。

●公民館講座の実施

モノづくりの機会を地域住民に提供し、社会教育に寄与する。

これらの人材に協力していただくとともに、設備を活用し公民館主催講座を毎年実施している。

春・秋の成人向けの公民館講座および夏休み子ども講座を実施している。

1講座全4回で実施、春に1講座、夏に2講座、秋に1講座を開設。

●公民館が所有するタブレット端末の活用

市内小学校で児童が使用していたタブレット端末が配置された。

●「タブレット体験教室」を主催し高齢者がICT技術にふれる講座を実施。



やきもの教室



タブレット体験教室

3. 取組による成果や効果

- 手作りの「やきものづくり」に取り組み、自分だけの器を作製することが出来た。
- 普段学習グループとして活動している方が講師役となることで、受講者との繋がる機会が出来た。
- 講師として指導することで、自ら新たな発見と気づきがあった。
- 令和5年度、4講座、延べ55人が受講した。
- アンケート結果では、受講の9割以上が「満足」「だいたい満足」との評価をしている。
- タブレット体験教室で、基本操作や市ホームページから防災無線情報や避難所情報の閲覧方法を学んだ。
- 最近主流となっている二次元コードからのホームページへの接続のやり方などを体験した。
- 令和5年度、4講座、延べ17人がタブレット体験教室を受講した。



やきもの教室

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

公民館の主催する講座を実施するとともに、アンケート調査を実施し、受講者の満足度や今後望まれる講座についての情報を収集し講座開設と運営に役立てている。令和5年度のアンケート結果では、受講の9割以上から「満足」「だいたい満足」との評価をしている、また、毎年開催して欲しいとの継続実施の要望があがっている。

市公民館運営審議会により、社会教育のあり方や求められる講座についての意見が交わされ、それらを踏まえ公民館講座の開設に役立てている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域の住民の学習活動への「きっかけづくり」となるよう心掛けています。

また、自治会活動や地域住民の一人ひとりがつながるために役立つ、公民館が重要な地域の「つどいの場」となれるよう取り組んでいる。



地域のつどいの場

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

地域住民一人ひとりのつながりが深まるきっかけとなる場づくりに取り組み、地域の集いの場となるよう取り組む。

ICTを活用した講座の実施やそのような社会に対応できる、受講生のスキルアップに努め、特に高齢者のデジタルデバイドの解消に努める。



ICTを活用した講

地域の未来をひらく子どもを育てる

由布市挾間公民館(大分県)



ジュニアリーダー活動支援



土曜教室 学業多塾クッキング

公民館の沿革・年表

- 昭和29年10月 市町村合併 挾間村公民館条例制定
- 昭和30年4月 町制施行 挾間町となる
- 昭和41年4月 挾間町中央公民館 新築
- 昭和45年5月 優良公民館として文部大臣表彰受賞
- 昭和56年4月 挾間町育成連絡協議会設置
- 昭和59年2月 挾間町青少年育成推進協議会設置
- 平成2年 挾間ジュニアリーダー発足
- 平成12年3月 挾間中央公民館 新築移転
- 平成13年7月 町民情報室未来クラブ発足
- 平成15年 おおい子ども地域づくりはさまスクール開設
- 平成17年10月 市町村合併 由布市となる
- 平成18年3月 NPOはさま未来クラブに改名

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●はさま地域放課後こども教室「学業多塾」
挾間地域の小学生1,193人中登録者数は545人となっており、約46%の児童が登録している。開催している教室が利用しやすいのはもちろん、子どもたちの興味を引き付ける内容になるよう考案している。

●ジュニアリーダー活動
中学生・高校生が活動主体。定例会議を月に2回行い、活動内容の企画・振り返りを行っている。公民館活動の支援を中心に、学業多塾や児童クラブとのレク活動、市内外のイベントや研修にも参加するとともに、自主運営のイベントも開催するなど、活動の幅と個々の資質向上にも努めている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	17438人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成12年3月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1690人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 76324人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 91,474人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 13460人 (トレーニングジム)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 7人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (文化ホール・トレーニングジム) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (健康センターも併設されており、市外からの利用も多い)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				

由布市挾間公民館

OPEN 9:00~22:00

H P http://k_hasa@city.yufu.lg.jp

TEL 097-583-1118

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 狭間公民館のある狭間地域は県都大分市に隣接しており平成17年の市町村合併当時から比較し、地域人口は約1,800人程度増加していることから、地域と継続的なつながりを持つ機会・きっかけの提供に取り組む活動を大切にしている。
- 子どもたちの居場所づくりや放課後支援等、子どもの主体的な学びや遊びを創造するとともに、子どもたちが地域のことを考え活動に主体的に取り組む中で、地域への愛着が生まれ、地域の将来を担う子どもたちを育成することを図る。
- 人口流入や核家族化等、地域とのつながりの希薄化などにより孤立し、また、子育てに不安や負担を感じている保護者に寄り添い、助言・相談を行うとともに、関係機関との連絡調整を図ることが求められている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業】

狭間公民館を拠点に、学校・地域住民・関係団体などをつなぐ役割の地域人材活用推進員が重要な役割を果たすとともに、地域学校協働活動のみならず、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）においても重要な役割を担っている。

- 学校支援 学校における地域学校協働活動
幼稚園、小学校、中学校にゲストティーチャーの派遣
実績 91回 講師 234人
- 家庭教育支援
家庭教育（ヨガ教室・寄せ植え教室等）子育て情報誌の発行
実績 8回 34人
- はさま地域放課後子ども教室「学楽多塾」
小学生チャレンジ教室（ゆふの寺子屋・土曜教室）
実績 154回 参加者 3,864人 講師 667人
土曜教室／実績 90回 参加者 1,856人 講師 510人
未来創生塾（中学生学びの応援教室）
実績 80回 参加者 623人 講師 200人

【ジュニアリーダー活動】

中高生が様々な地域活動に参画し、事業の企画・運営等に主体的に関わる
実績 51回 加入者 21人 延べ参加者数 401人（内訳 定例会 21回・県主催研修会 5回・由布市主催研修会 6回・行事支援 11回・児童クラブ等交流 7回・普通教命講習 1回）



学楽多塾開塾式 地元農家へいちご狩り



ジュニアリーダー 地域の祭りに自主運営で参加

3. 取組による成果や効果

- 地域人材活用指導員と地域学校協働推進員が各学校の学校運営協議会（コミュニティスクール）委員として参画し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体に取り組むことで、地域のつながりを強化し、地域の活性化が図られた。
- 学楽多塾を卒業した子どもたちが、市社会教育課主催事業の講師となったり、放課後子ども教室のイベント参加、小学生対象の講座にアシスタントとして参加している。
- ジュニアリーダーの活動の一環として、放課後児童クラブや放課後子ども教室のイベントへの参画や、社会教育団体活動及び地域の行事のアシスタントとして参加し、自らの視点を広げる機会となった。
- 学楽多塾は開塾から21年たち、卒業した子どもたちがジュニアリーダーとなり、ジュニアリーダーを卒業した子どもたちがシニアリーダーとして関わり、成人した後は「若者活動隊」という自主グループを主宰し、市政懇談会で地域の問題を提起したり、地域のイベントに参加する等の活動を続けており、将来地域を担う人材として期待されている。



ジュニアリーダー 学楽多塾活動支援

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学びの教室で不登校や支援を必要とする児童生徒の保護者の支援体制と、それらの児童生徒に対し専門的な指導の必要性を公民館運営審議会で提案され、由布市内にキャンパスがある大分大学医学部で総合診療を学ぶ学生が活動に参画している。
- 多様な人材や活動がつながることにより、興味や関心、思いを同じくする仲間ができ、そこから新たな活動が生まれることを図る。
- ジュニアリーダーが児童クラブや学楽多塾の活動支援をすることで、小中学生の異年齢交流を図り、活動にあこがれる小学生が卒業後ジュニアリーダーに加入する取組の強化を図る。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- それぞれの人材の個性を活かしながら、より豊かな人と世代間の交流に取り組んでいく。
- 学校と地域のつながりを密にし、子どもたちの教育環境の向上、地域の活性化に繋がるよう、連携・協働を進めていく。
- 活動を通じて各団体と縦と横の繋がりの連携を形成し、次の活動にスムーズに移行できる環境を整えるとともに、次代を担う人材を育成する。



ジュニアリーダー 青少年健全育成市民会議に参加

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 子ども会を解散する地域や、PTA加入者が減少している昨今、学楽多塾やジュニアリーダーの果たす役割は大きく、活動を通じて異年齢同士の交流や地域活動等、今後さらに充実した取組を推進する。
- 公民館運営審議会での意見を受け、子ども会を解散した地域で保護者有志による「保護者会」を立ち上げていることから、積極的に公民館活動に参加できるよう連携・支援する。
- 地域ボランティア高齢化に伴い、学楽多塾から育成してきた次世代の人材へ講師等の役割移行や、幅広く地域ボランティアの人材確保を図る。



ジュニアリーダー 自主活動ゴミ拾い

「歴史と文教の城下町」の生涯学習拠点

高鍋町中央公民館(宮崎県)

公民館の沿革・年表

- ・昭和58年 高鍋町中央公民館開設
- ・昭和58年 公民館事業「講座、各種教室」の開講
- ・昭和58年 講座受講者による発表会開催
- ・昭和63年 優良公民館として文部大臣表彰受賞
- ・平成6年 教育支援センター「なでしこルーム」開設
- ・平成26年 太陽光発電システム設置
- ・平成29年 ネーミングライツ導入。愛称「たかしんホール」
- ・令和4年 高鍋ITセンター整備
- ・令和5年 高鍋ITセンターの開設

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●公民館教室発表会

公民館では、子どもから高齢者を対象に多種多様な内容の講座7、教室34を開講しており、楽しく活発に学習されている。毎年、日頃の学習の成果を披露するために公民館教室受講生による発表会を開催。

●夏休み子どもプログラミング講座

夏休みにITセンターで、小・中学生向けにプログラミング講座を実施。



公民館教室芸術発表会



夏休み子どもIT講座

公民館情報		1. 公民館対象人口	19092人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和58年10月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 9999人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 11134人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 19,585人 <input type="checkbox"/> その他 0人 () 合計 40,718人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 6人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (教育支援センター(不登校児の支援)、石井十次顕彰会事務局)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (老人福祉センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (文化会館の無い町に、1000人収容の大ホールを備えており、演劇、コンサート等開催可能)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (高鍋東小学校、高鍋西小学校、高鍋東中学校、高鍋西中学校、高鍋高校、高鍋農業高校、高鍋町観光協会、高鍋町商工会議所、高鍋町社会福祉協議会、高鍋信用金庫、高鍋町文化協会、町内保育園・幼稚園、高鍋史友会、石井十次顕彰会、秋月鼓童、エムネクスト株式会社、町関係部署 他)				

高鍋町中央公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 0983-23-0048

HP <https://www.town.takanabe.lg.jp/soshiki/shakaikyoku/3/2/848.html>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 確実に進んでいる少子高齢化、急速なIT化、複雑な多様化の時代、更には地球温暖化による異常気象や大型台風の襲来、大規模な地震災害など、現代社会に求められている公民館のあり方について、検討をすべき時期に来ている。
- 公民館は建設後41年が経過しており、老朽化しほぼ全ての設備が耐用年数を超えている。安心して施設を利用できるよう早急な大規模改修等が必要である。
- 公民館利用者の減少

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- ITセンターの運営 株式会社サードウェーブからの企業版ふるさと納税を活用し、学習室の改修を行い、高性能パソコンの導入、高速ネット環境を整備した。令和5年度からエムネクスト株式会社に運営を委託し、本格運用を開始した。
小・中・高校生向けのプログラミング講座の開催、高齢者向けのパソコンを使用した脳トレや基本操作等の指導、スマホ講座を開催した。町が公式LINEの運用を始めた時期とも重なり特にスマホ講座は大盛況であった。また、ITセンターの開放日には、VR、AI（ChatGPT等の人工知能）、IoTの先端IT技術体験コーナー、高性能PCでのeスポーツ体験、プログラミング体験などを実施した。
- 講座・教室 若い世代の講師が自らのSNS等を利用しPRを行う教室が増えつつある。連携してPRに取り組んだ。
- ホールの利活用 ホームページのリニューアルやSNSなどによるPRに努め集客を図った。メールでの使用申請を可能にし事務の効率化、柔軟な運営を行った。また、週3回舞台上で練習を行っている「秋月鼓童」の支援を継続して行った。
- 教育支援センター「なでしこルーム」 不登校の子ども達を受け入れて教育を行っている先生達の要望を聴き、子ども達が安心して活動できる環境の改善に取り組んだ。
- ネーミングライツ契約「たかしんホール」 高鍋信用金庫とネーミングライツ契約を更新し支援をいただいた。



ITセンター開放日



秋月鼓童の練習

3. 取組による成果や効果

- ボランティア活動への広がり 公民館教室芸能発表会で「うたの広場」合唱教室の発表を見学された老人ホームから慰問の依頼があり、ボランティアとして慰問し交流を深めることができた。
- ホワイエ（ロビー）の利活用 町外の福祉事業者からの提案を受けて、広いホワイエ（ロビー）を活用して福祉用具の展示会を開催した。
- 町外の高校の吹奏楽部からの舞台練習が定期的に始まった。
- 吉本興業主催の公演会（町後援）を町の観光部署や観光協会と連携し開催することができた。地元のキッチンカーも参加し盛り上がった。



老人ホーム慰問

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 小学校、高校の校長や自治会関係者、社会教育団体長等11名で構成する公民館運営審議会を開催し、事業の説明や意見の集約を図った。
- 参加者にアンケートを取ったり、意見を聴いたりして、次の事業の参考とした。
- PDCAサイクルにて検証を行い、次の事業に反映させている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域住民と密着した公民館として、地域社会の発展と住民生活の充実に資する各種の事業を行い、それを通して住民の自主的な学習や文化活動が更に促進されるよう支援するとともに、生涯学習の拠点として、心豊かな人づくりを推進する。そのため、各種事業の企画運営については、町民のニーズに添った健全な管理運営に努めること。



高齢者教室

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

喫緊の課題は、老朽化が進む施設の大規模改修。災害時の町指定避難所であり、災害時においても拠点施設となる。改修に向けて今年度「基本計画」を策定する。基本計画の中でPPP、PFI、ZEH、ZEB、デジタル機能強化、SDGs、ユニバーサルデザイン対応等を検討していき、町民のニーズに沿った新しい時代の公民館を目指している。



たかしんホール

ふれあい 学び合い 高め合う 公民館を目指して

鹿屋市串良公民館細山田分館(鹿児島県)



細山田人旅立ち式の集合写真



細山田子ども食堂の様子

公民館の沿革・年表

- ・昭和47年 細山田農業研修センター 設置
- ・昭和63年 細山田校区公民館に設置目的変更
- ・平成18年 串良公民館細山田分館
(市町村合併に伴い名称変更)
- ・平成23年 かや学校応援団事業スタート
- ・平成26年 細山田地区生涯学習推進協議会設置
- ・令和元年 寺子屋の開設(細山田わくわく知徳塾)
- ・令和2年 細山田校区地域学校協働本部 設置
- ・令和3年 無線LAN(Wi-Fi設備) 設備設置

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 細山田人旅立ち式(H24スタート) 細山田コミ協主催
細山田分館を会場として、細山田地域の出身者で当該年度末に大学進学や就職等により、それぞれ旅立っていく高校3年生を集めて、地域住民や恩師等が、**18歳の若者の旅立ちを祝う**というもので、毎年3月初旬に実施している。
- 地域学校協働本部活動(子ども食堂の様子)
令和4年度から毎月第2土曜日を「CSの日」と位置づけ、子ども食堂の開催に加え、朝の立哨活動など学校支援を展開し、当分館を**地域学校協働本部**と位置づけている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	3781人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和47年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	最大200台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 613人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5200人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 908人 合計 6,916人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 195人 () <input type="checkbox"/> ビー、広場等利用 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (鹿屋寺子屋事業)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (敷地内に芝生広場があり、子ども食堂時の活用や子どもの遊び場となっている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (市役所各課、ひばり保育園、細山田こども園、細山田小・中学校、国立鹿屋体育大学、コミ協、校区体協、地区民協、校区子ども会、細山田子ども食堂、校区高齢者クラブ、小中PTA等)				

鹿屋市串良公民館細山田分館

OPEN 8:30~22:00

H P

TEL 0994-62-2958

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 当公民館は、**細山田地域の唯一の社会教育施設**であり、幼・少年期、青年・壮年・中年期、高齢期など、それぞれの年代層に応じた学びの機会提供や情報発信などが求められている。
- 細山田地域は、細山田小と細山田中の**一・小一・中体制の地域**であり、地域全体で子供たちを見守っていくという意識が強く、これまで学校と地域が連携して様々な取組を展開してきている。
- 細山田地域の各種団体等がそれぞれ特色ある活動を展開しているが、**各団体間の連携強化**が求められている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【関係機関・団体との連携強化の取組（子育て支援・情報発信・読書推進）】

- 地域学校協働本部**として、小・中学校と各種団体との連絡調整に努めている。
- 細山田子ども食堂実行委員会の事務所として位置づけるとともに、2か月に1回細山田分館を会場として実施している「**子ども食堂**」への**支援**を行っている。
- 細山田校区コミュニティ協議会の事務所として位置づけるとともに、協働の取組として、分館ではコミュニティ協議会行事の館だよりでの周知、コミュニティ協議会ではSNS活用による情報発信等を行っている。
- 移動図書館車「**はたる号**」の誘致や図書コーナーの設置を行うとともに、民生委員の絵本の読み聞かせ活動等、**関係機関と連携した読書推進活動**を実施している。



民生委員による絵本の読み聞かせ

【デジタルリテラシー向上に関する取組（ICTの活用）】

- 高齢者を対象とした「**スマホ教室**」の開催や他講座への受講案内を実施している。
- 施設利用者の利便性向上を図るため、「**無料Wi-Fi設備**」を整備している。
- 細山田コミ協と連携して、**SNSを活用**した各種行事等の情報発信を行っている。



高齢者スマホ教室

【中高生等への学習支援に関する取組（学習支援）】

- 中学生や高校生等が放課後や夏休み等に勉強する場所を提供するため、分館の空き部屋を活用した「**頑張れ中学生・高校生学習支援事業**」を実施している。

3. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果（関係機関・団体との連携強化の取組）】

- 細山田校区コミュニティ協議会と共同で発信する「**細山田通信**」の**発行**（R6.6）につながった。
- 2か月に1回開催される「子ども食堂」の開催内容を、毎回館だよりで広報した結果、活動に賛同する方からの**食材の提供やボランティアスタッフの増加**につながった。
- これまでの関係機関協働の読書推進を踏まえ、今年度は小中学校の家庭教育学級や小中学校との協働で、絵本専門士による「**親子読書講座**」開催につながった。



子ども食堂のボランティアスタッフ

【各活動による成果・効果（中高生等への学習支援に関する取組）】

- 学生の**タブレット自宅持ち帰り**時に、学習場所として利用増が期待される。

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 毎月1回開催する「**分館関係者会議**」において、活動内容ごとの振り返りや次回への改善点等を議論するとともに、生涯学習推進協議会の総会や役員会等における意見や要望等、多様な意見等を踏まえながら検証・改善を行っており、**PDCAサイクルを意識した公民館運営**を行っている。
- 地域学校協働活動に関することは、学校運営協議会で行っている。（館長が委員として参加）

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 細山田地域の唯一の社会教育施設として、子供から高齢者まで全ての住民が気軽に利用できる施設として、**地域ニーズに合致した取組**を行っていきたい。
- 建築後50年を経過して老朽化した施設ではあるが、施設を有効活用した展示や花壇に市の花であるバラの花を植栽するなど、**来館者の憩いの場**となるよう取り組んでいきたい。



花壇に植栽したバラ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 地域学校協働本部として、地域との連携強化のため、**鋭的な公民館**を目指したい。
- 子育てや仕事の関係等で受講する時間が取れない方や、高齢等で移動手段を確保できない方など、講座受講の希望はあるのに受講できない方のために、気軽に自宅で講座受講が可能となる「**ICTを有効活用した講座の取組**」等について検討していきたい。



新入生の下校同行支援

潤いと品格 和と輪あふれる館 城西

鹿児島市城西公民館(鹿児島県)

公民館の沿革・年表

- ・昭和51年 城西公民館を開設
- ・昭和54年 優良公民館文部科学大臣表彰
- ・昭和58年 図書室・調理室新設
- ・昭和59年 ホール兼体育館新設
- ・平成3年 別館増築完成・健康づくり学習室利用開始
- ・平成10年 家庭教育を支援する地域づくり推進事業(文部省)
- ・平成13年 優良公民館文部科学大臣表彰
- ・平成25年 大規模改修工事
- ・平成26年 リニューアルオープン

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 「親子で楽しむ植物採集」講座の様子
令和5年7月に開催し、10組20人の親子が参加した。元理科教師を講師に迎え、野外で植物を採集し、名前を調べ、標本を作成した。自由研究に対応できることや、親子で一緒に野外に赴き、身近な植物について学べることから、例年人気の高い講座である。
- 「レクリエーションのつどい」の様子
令和5年10月に、4年ぶりに開催された自主学習グループ連絡会主催のミニ運動会である。100名を超える参加者が4組に分かれ、終日かけて様々な競技に臨む。公民館に集う住民の絆を深めるとともに、地域の力強さや活気を実感する行事でもある。



「親子で楽しむ植物採集」



「レクリエーションのつどい」

公民館情報		1. 公民館対象人口	45,240人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和51年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	200台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 (

鹿児島市城西公民館

OPEN 8:30~22:00

TEL 099-224-6993

H P <https://www.city.kagoshima.lg.jp/kyoiku/kyoiku/syogaigaku/>SNS <https://www.instagram.com/syogaigaku/>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 公民館の域内には5つの高等学校をはじめ、教育やスポーツに関する施設や史跡が数多くあり、**文教地区との自負を持つ地域住民も多い**。このような立地条件から公民館を利用する住民は多く、公民館**講座の応募率も高い**。また、教育への関心も高いので、**小・中学生とその親を対象とした講座への応募率が高い**が、未就学児の保護者の参加を促す取組が必要である。
- 本館で定期的に活動している**自主学習グループ**は、地域総合文化祭や愛館作業（館内外の清掃活動）などの公民館事業を実施する際に**とても協力的**であり、会員の高齢化がみられるが、**高齢者の生涯学習活動の一助を担っている**。公民館事業は、地域への愛着を育んだり、住民同士をつなぐことに大きく貢献したりすることから、**自主学習グループの活性化を図りたい**。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【親子で学ぼう～文教地区としての期待に応えるために～】

学校の夏季休業中の課題に対応できるように、社会科や理科研究、図工に関する親子講座を開設している。講師には教職員のほか、「少年自然の家」や「科学館」の**専門職員**を迎えている。また、**保護者が一緒に参加しやすいように、開催日を土曜日に設定**している。

【「薩摩糸びな」の復活～伝統文化継承の担い手に～】

「**薩摩糸びな**」は、昭和末期に一度途絶えかけた**県指定伝統的工芸品**である。本館では、これを制作する講座を**特色ある講座と位置づけ**、多くの市民に**伝統工芸品の素晴らしさを体感してもらうとともに、その普及に努めている**。現在、講師は「薩摩糸びな」を復活させた小澤氏の娘である新山氏が務めており、今年で16年目を迎える。

【和と輪あふれる館～自主学習グループの育成～】

自主学習グループ連絡会を組織し、「レクリエーションのつどい」や「ごみゼロクリーン作戦」といった**人とのつながりや地域への愛着を育む**行事を主体的に行っている。また、公民館と共催する「**総合文化祭**」では、計画や運営はもちろん、地域の関係団体に出演や作品展示を働きかけることで、**文化祭が地域をあげての交流イベントの場**となっている。

高齢化による会員の減少が課題ではあるが、学習の成果を地域文化祭で発表したり、**公民館講座の講師を務めたり**するなど、城西地域ならではの学びを発信する立場として、**自主学習グループの活性化に努めている**。



「薩摩糸びな」



「総合文化祭」

3. 取組による成果や効果

- 親子講座は**すべて、定員を超える**応募があった。受講者の中には、県の作品展に入賞する児童もいた。親子で体験しながら学ぶことができるので、**とても好評**である。
- 「薩摩糸びな」をより多くの方に知ってもらうべく、講座名に「**贈って喜ばれる手作り伝統工芸**」と付け加えた。応募率も高く、**市外の方からも受講希望があり、郷土の伝統工芸品の普及に一役かっている**。
- 総合文化祭は、地域内の保育園に通う幼児から小・中・高校生、地域で活動する様々な団体が日頃の学習の成果を発表する貴重な場となっており、昨年度は**28団体が舞台発表を、31団体が展示発表**を行い、**参加者は2,542人**にのぼった。**自主学習グループにとっては、今後の活動意欲が高まる機会となり、地域住民にとっては、地域で活動している団体や地域の文化に触れるよい機会**となっている。
- また、自主学習グループ生が**講師となって開催した「楽しい手作りマジック入門」や「楽しい水墨画入門」はとても好評で、新たなグループ会員の増加につながった**。



「楽しいマジック入門」

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学校関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者7名で構成する**公民館運営審議会**を**年2回開催**して、諮問事項について得られた意見を事業改善に生かしている。
- 事業や講座の参加者にアンケートを実施し、得られた意見等を踏まえて次回の企画・運営を改善しており、**PDCAを意識した公民館運営**を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

本館のキャッチフレーズである「**潤いと品格 和と輪あふれる館 城西**」を常に心がけている。

【**潤い**】**地域住民に寄り添う姿勢**を忘れず、積極的に声をかけ、**信頼関係を築いている**。

【**品格**】文教地区としての自負を持っている住民の期待に応えるべく、**講座内容の工夫や充実に努めている**。また、自主学習グループ等の**活動を支援**するとともに、その**学習成果が多くの住民の目に触れる機会**を設けている。

【**和と輪**】公民館が、様々な目的で利用する**住民同士をつなぐ場**になるように、また、主催事業等を**地域の団体と連携**して行うことで、**地域づくりや地域の活性化につながる**ように心がけている。



「館内ギャラリー」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 地域内には工業系の高等学校や環境教育に関する施設がある。**それらと連携して、それぞれの強みを生かしたイベント**ができないか考えたい。また、5つの高等学校がある利点を生かし、**若い世代を公民館行事等に取り込み**、城西地域ならではの行事や講座を企画し、新たな**城西公民館のブランド化**を図りたい。
- 地域内には意外と知られていない**史跡**が数多く残っている。地域の歴史を発信することで、歴史的な側面から**城西地域を再認識**できるような取組を考えたい。



「高校生による箏の演奏」

ゆていも一れ！本と人、笑顔が出逢う公民館

奄美市笠利公民館(鹿児島県)



外観



赤木名八月踊り保存会の閉講式での発表

公民館の沿革・年表

- ・昭和42年 笠利町公民館開設
- ・昭和49年 公民館だより1号発行
- ・平成5年 天体観測教室の開設
- ・平成6年 夏季児童生徒習字教室の開設
(小学生対象)
- ・平成13年 笠利中央公民館に改称
- ・平成18年 市町村合併により奄美市笠利公民館に改称
- ・令和3年 奄美市笠利公民館Instagram運用開始

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 奄美市笠利公民館の外観
館内には、図書室・ホール・講座室・和室・事務室が整備されている。利用予定の無い時間帯の講座室を「**自習室**」として、また和室を「**キッズスペース**」として開放している。
- 「赤木名八月踊り保存会の閉講式での発表」の様様
地域の伝統を受け継ぐ島唄や三味線、各集落の八月踊り、郷土芸能を生涯学習講座として実施し、次世代に継承するとともに郷土を愛する心を育むことも目的としている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	5,240人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和42年3月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3819人 <input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 60人 合計 9,897人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 6018人 (自習室・キッズスペース利用者数)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (伝統文化継承活動、青少年健全育成)				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (施設周辺に、城跡等の文化財が複数ある。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 奄美市笠利文化協会				

奄美市笠利公民館

OPEN 9:00~22:00

H P

TEL 0997-63-1242

SNS <http://www.instagram.com/kasarikominkan/>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 少子高齢化は本地区においても顕著であり、**伝統文化郷土芸能の後継者も不足しており、衰退の危機**にある。
- 中学生から**子育て世代（10代～40代）の公民館利用者数が減少**している。
- 本公民館の近くには小学校、中学校および高校があるものの、**中高生の利用が極端に少ない**といった課題があった。
- 本島は亜熱帯気候で雨が多く、また、夏場は暑さが厳しいこともあり、**屋内で子供を遊ばせられる場所の需要が高い**傾向にあった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【伝統文化郷土芸能を生涯学習講座として実施（伝統文化継承）】

地域の伝統を受け継ぐ**島唄や三味線、各集落の八月踊り、郷土芸能**を生涯学習講座として実施し、次世代に継承するとともに郷土を愛する心を育むことも目的としている。

【空き室を有効活用：自習室とキッズスペースの開放】

生涯学習講座や貸館等が無い時間帯の「講座室」を中学生以上から利用できる「自習室」として、また「和室」を「**キッズスペース**」として開放。キッズスペース内の遊具等は職員が持ち寄り、また段ボール等で遊具を工作して、遊具の充実を図った。

【SNS（Instagram）の運用開始】

中学生から子育て世代までの公民館利用が少ないのは、そもそも公民館がどのような場所なのかを認知していないことにあるのではないかと考えた。そこで、あらゆる情報をインターネットから収集する中学生から子育て世代に対し、SNSを活用し公民館に関連する講座や行事、図書情報などを発信していくことで、公民館を認知する可能性を高めることができ、公民館の利用増加に貢献するものと考え、**SNS（Instagram）の運用**を開始した。



自習室・キッズスペース開放ポスター



Instagramによる情報発信

3. 取組による成果や効果

- 伝統文化郷土芸能を講座として実施することで、**伝統文化の継承、指導者不足の解消、世代間交流**が図られ、また講座生同士が教え合っている場面もよく見られるようになった。
- 講座等が無い時間帯の公民館は閑散としていたが、自習室及びキッズスペースを開放したことにより、**中高生や親子連れの利用が増え**、公民館に活気が出てきた。キッズスペースを利用する親子からは息抜きのできたと好評を得ている。またキッズスペースを利用した親子が絵本を借りて帰るといった相乗効果もあり、公民館の利用者数とともに**図書の貸出冊数も伸びている**。
- SNSの運用を開始したことで、これまで利用したことが無かった若い世代の利用も見られるようになった。また前述の自習室やキッズスペースも、**SNSを見て来たという利用者**もあり、SNS運用の成果が出ている。



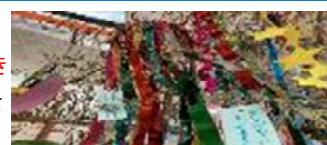
先輩講座生が他の講座生に教えている様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 奄美市公民館運営審議会が**年に3回**の会議で事業の検証を行い改善方法について検討を行っている。
- 生涯学習講座において、**毎講座ごとに日誌**での講座内容や受講生の状況について報告、及び要望を確認し、講座運営の改善に努めている。
- **来館者からの積極的な意見聞き取り**を行い、公民館運営改善に取り組んでいる。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

幅広い年齢層の地域住民が気軽に集えるような温かい雰囲気のある**愛される公民館**を目指す。そのため公民館内部の整備はもちろんのこと、外の花壇や木々の手入れも行い、**気持ちよく利用できる環境づくり**を心掛けている。**一番大切なのは利用者の声**。利用者からの率直な意見を受け取り、それを公民館運営に活かしたり、利用者と共によりよい公民館を作り上げたりしていく。



公民館内に設置した七夕

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 今後も笠利地区の島口・島唄・八月踊りや各集落の伝統文化の継承・保存活動等、市民のニーズに応えた**新たな講座の開設**を行いたい。
- **中高生であふれかえる公民館**を目指したい。
- お話会（幼児への読み聞かせ）等の実施回数を増やし、**子育て世代により利用される公民館**を目指したい。



多世代が交流する八月踊り



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

文部科学省HP

社会教育についてはコチラ⇒

